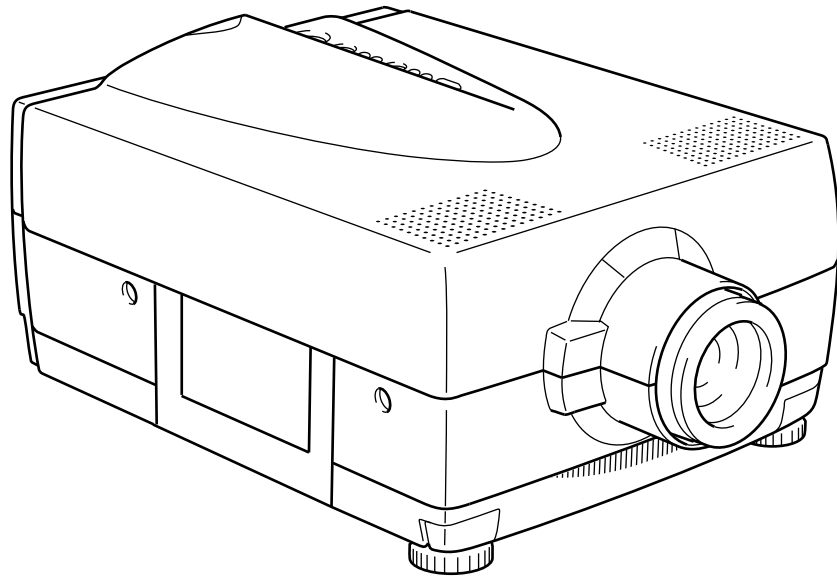


液晶データプロジェクター

# EDP-3000

取扱説明書




# 安全上のご注意


## 安全にお使いいただくために 必ずお守りください

この「取扱説明書」および製品（本機）への表示では、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 図記号の意味



は、注意（警告を含む）を示します。  
具体的な注意内容は、 の中や近くに文章や絵で示します。  
左図の場合は、「感電注意」を示します。



⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。  
具体的な禁止内容は、 ⊘の中や近くに文章や絵で示します。  
左図の場合は、「分解禁止」を示します。



は、強制（必ずすること）を示します。  
具体的な強制内容は、 の中や近くに文章や絵で示します。  
左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示します。

# ⚠ 警告

<p>万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。</p>	  注意 プラグを抜く
<p>万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	 プラグを抜く
<p>万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいる環境ではご注意ください。</p>	 プラグを抜く
<p>万一、機器を落としたり、キャビネットなどを破損した場合は、機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	 プラグを抜く
<p>電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に、交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	注意 
<p>ランプの交換など取扱説明書で指定された以外の箇所は、外したり改造しないでください。感電の危険があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</p>	分解禁止 
<p>機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。</p>	禁止 
<p>ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。</p>	禁止 
<p>表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	禁止 
<p>機器に異物を入れたり、水で濡らさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。</p>	禁止 
<p>機器の通風口などから内部に金属類や燃えやすい物など異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる環境ではご注意ください。</p>	禁止 
<p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。）</p>	禁止 
<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>	禁止 

# 警告

画像が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く



電源プラグの刃や取付面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ほこりをとってください。

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。

注意



電源コードのアースクリップを接地してください。  
これを怠ると感電の恐れがあります。



ランプ点灯中か消灯後しばらくはランプに触れたり、燃えやすいものを近づけないで下さい。ランプ交換する場合は、ランプや機器を十分冷却し、熱くないことを確認した上で、電源プラグをコンセントから抜き、手袋などを着用して行ってください。火傷や火災の危険があります。



高温注意



プラグを抜く

ランプ交換する場合は指定されたランプ以外は使用しないでください。  
指定外のランプを使用すると破裂・火災の危険があります。

禁止



ランプ点灯中は機器を動かしたり、たたいたりして、ランプに振動を与えないでください。破損したランプのガラスでけがをする恐れがあります。

禁止



太陽光などの強い光の当たる場所に機器を置かないでください。  
機器を組み込んであるレンズにより光を集光し、火災の原因になる恐れがあります。

禁止



ランプはごくまれに破裂することがあります。通風孔などのすき間からのぞいたり、手をのぞいたり、近くに燃えやすいものを置かないでください。けがや火災の原因となります。また、機器の外に出たガラス破片にも十分ご注意ください。

禁止



投映中は通風孔からランプを直視したり、レンズをのぞかないでください。強い放射光が発生しているため、目を痛める原因になります。

禁止



雷が鳴り出したら、接続ケーブルや電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止



## ⚠ 注意

風呂場や加湿器のそばなど、湿気やホコリの多い場所に置かないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。

禁止



電源コードを熱器具に近づけないでください。  
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止



機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

機器を横倒しにする。

押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。じゅうたんや、布団の上に置く。また、機器の設置は壁から10cm以上の間隔をおいてください。

禁止



機器の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
必ずプラグを持って抜いてください。

禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となることがあります。

禁止



移動させる場合は、主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認のうえ、移動してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜く



メンテナンスの際は、機器を十分冷却して、熱くないことを確認したうえで、必ずコンセントから電源プラグを抜いておこなってください。感電・火傷の原因となることがあります。

プラグを抜く



機器を長時間、ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。  
火災の原因となることがあります。

プラグを抜く



購入後、定期的な点検や内部の掃除を販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

注意



キャスター付の台に機器を設置する場合はキャスター止めをしてください。  
動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止



## 使用上のご注意

本機は日本国内用に作られたものです。必ずAC100V、50Hzまたは60Hzでお使いください。  
電源の異なる外国ではご使用になれません。

保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。

変色、変形、故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多い所には置かないでください。

使用上の環境条件は次のとおりです。

温度：5 ～ 35                      湿度：30% ～ 70%（結露しないこと）

本機の清掃は、乾いたやわらかい布で拭いてください。

シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。

レンズを直接太陽に向けしないでください。投映不能になることがあります。

乾電池についてのご注意

- ・長時間使用しないときは、取り出してください。
- ・充電式乾電池（Ni-Cd）は使用しないでください。
- ・新旧、異種の乾電池を混用しないでください。
- ・充電したりショートさせたりしないでください。

# もくじ

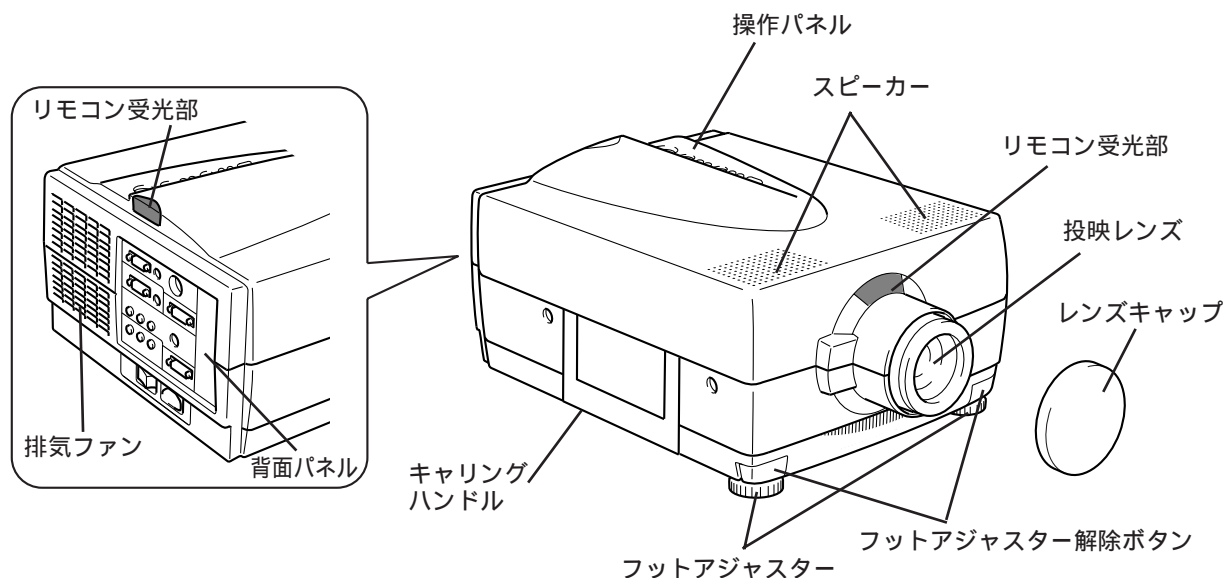
1. 各部の名称	8
外観	8
操作パネル	8
背面パネル	10
リモコン	11
2. 設置	12
スクリーンからの距離と画面サイズの関係	12
床置き正面投写	13
フットアジャスターの使用法	14
3. 本体のセットアップ	15
ビデオ機器との接続	15
コンピュータとの接続	16
IBM互換機コンピュータとの接続	16
PC-98系コンピュータとの接続	17
Macコンピュータとの接続	18
4. リモコンについて	19
乾電池の挿入	19
リモコンの基本操作	20
5. 操作のしかた	21
映像の操作	21
オプションメニューの設定	22
映像の調整	23
オーディオの調整	25
画面の調整	27
設定位置に合わせて画面の調整	29
入力信号の制御	30
画面の調整を初期値に戻す	32
電源オフ	33
6. 各種機能について	34
ミュート	34
入力信号の画面表示	34
映像の静止	34

7. 入力信号について	35
RGB入力信号について	35
RS-232C端子での調整および制御	37
8. 異常表示について	40
9. 故障かな?と思ったら	41
10. メンテナンス	42
エアフィルターの清掃	42
投映レンズの清掃	43
本体の清掃	43
吸気、排気ファンについて	43
ランプの交換	43
11. 仕様	45
12. 付属品	46

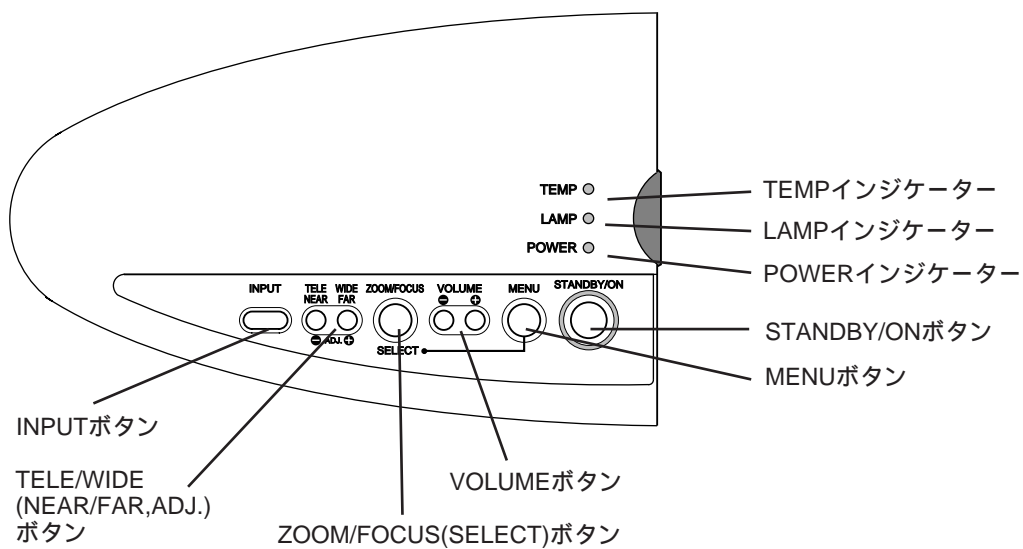


# 1. 各部の名称

## 外観

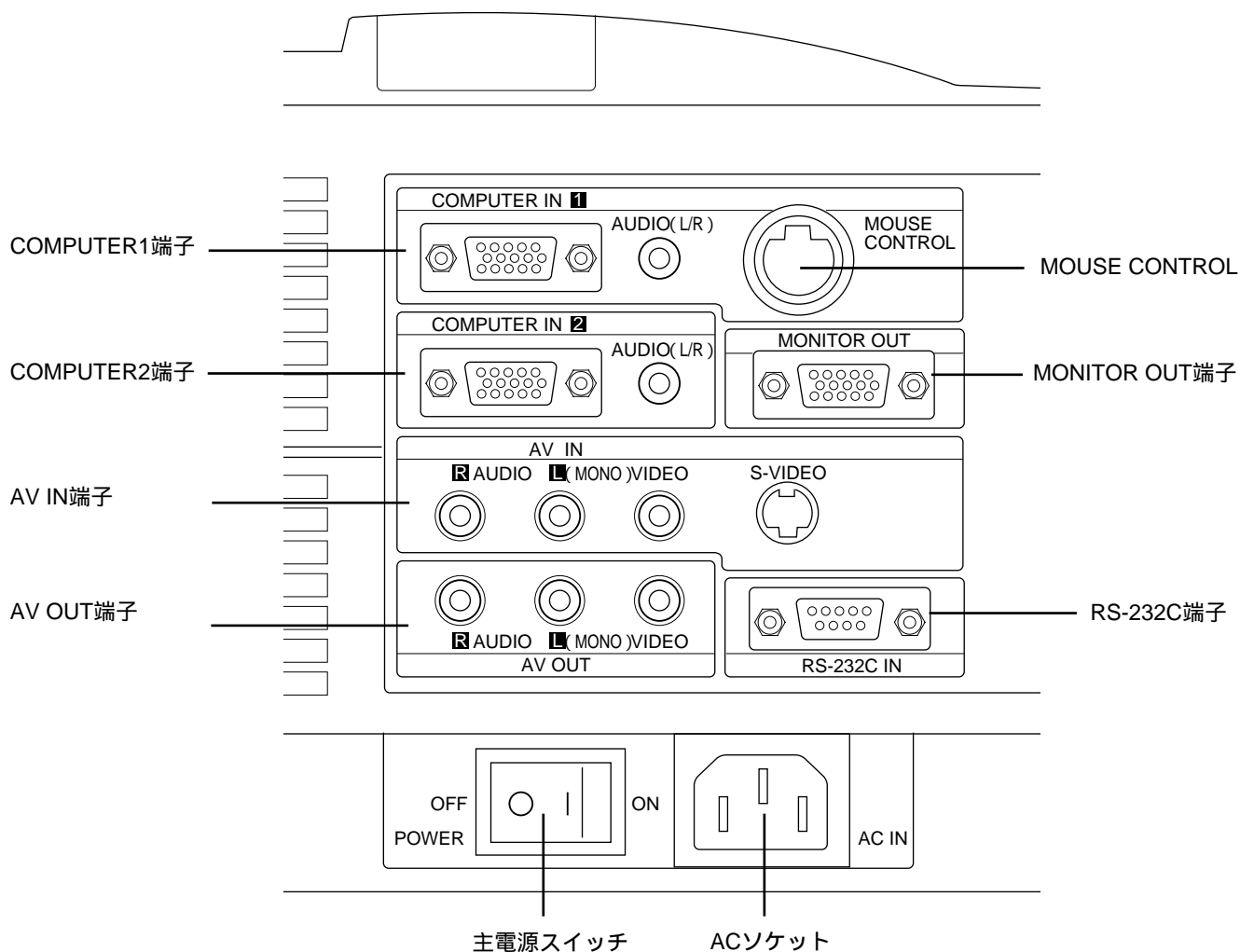


## 操作パネル



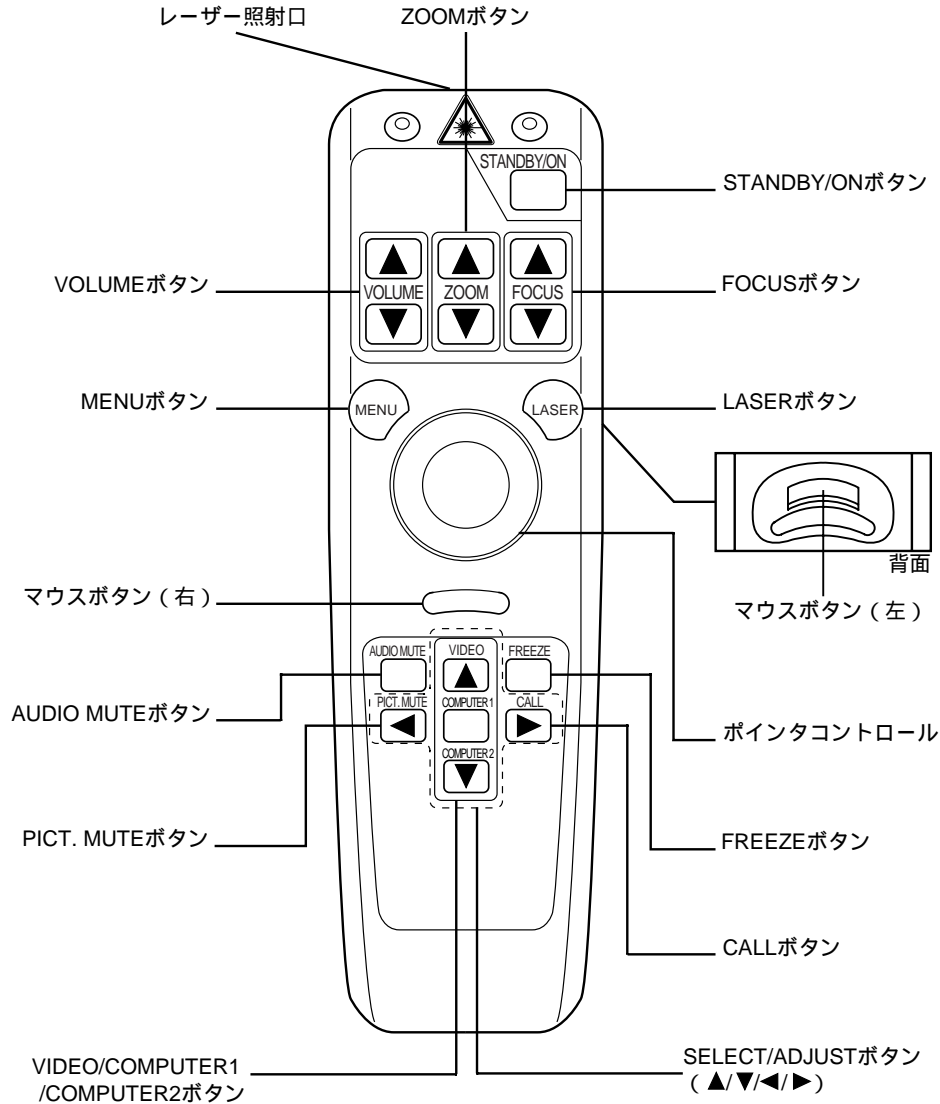
名 称	働 き
STANDBY/ONボタン	電源の入/切をします。
MENUボタン	映像調整用の画面を表示したり、消去するときに使用します。
VOLUMEボタン	音量を調整するときに使用します。
ZOOM/FOCUS(SELECT)ボタン	FOCUS機能でピントを調整するときは、このボタンを押しながらTELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタンを使用します。 メニュー選択画面が表示されているときは、このボタンで調整項目を選択します。
TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタン	映像調整用の画面で調整項目を選択するときや数値を調整するときに使用します。
INPUTボタン	映像の入力を選択するときに使用します。
POWERインジケータ	<p>橙色点灯：電源が供給され、スタンバイ状態です。</p> <p>緑色点灯：STANDBY/ONボタンでランプが点灯し、投映が可能な状態です。</p> <p>赤色点灯：ファン異常です。約2分後に橙色点灯になります。</p> <p>消 灯：内部温度センサーが働いています。約2分後に橙色点灯になります。</p>
LAMPインジケータ	<p>緑色点滅：ランプ点灯準備中です。(約30秒) アフタークーリング中です。(約2分)</p> <p>緑色点灯：STANDBY/ONボタンでランプが点灯し、投映が可能な状態です。</p> <p>橙色点滅：ランプ交換時期(ランプ寿命前50時間から)です。</p> <p>橙色点灯：ランプ寿命を超えました。 参照 P.44 ランプの交換</p>
TEMPインジケータ	<p>橙色点滅：内部温度センサーが働いています。約2分後にPOWERインジケータが橙色点灯になります。</p>

## 背面パネル



名 称	働 き
主電源スイッチ	POWER ONでプロジェクターに電源が供給されます。
ACソケット	電源コードをプロジェクターに接続します。
COMPUTER 1端子 COMPUTER 2端子	コンピュータと接続します。コンピュータからの映像や音声信号などが入力され、プロジェクターから出力されます。
MOUSE CONTROL	コンピュータをリモコンで操作するときにマウスケーブルを接続します。
AV IN端子	この端子へ入力された映像や音声プロジェクターから出力されます。S-VHSビデオなどのS映像端子を持つ機器はS-VIDEOに接続します。
AV OUT端子	AV IN端子からの音声、映像が出力信号として出力されます。
MONITOR OUT端子	モニターテレビなどに接続すると、映像が出力信号として出力されます。
RS-232C端子	コンピュータを使用してプロジェクターを操作するときにRS-232Cケーブルを接続します。

# リモコン

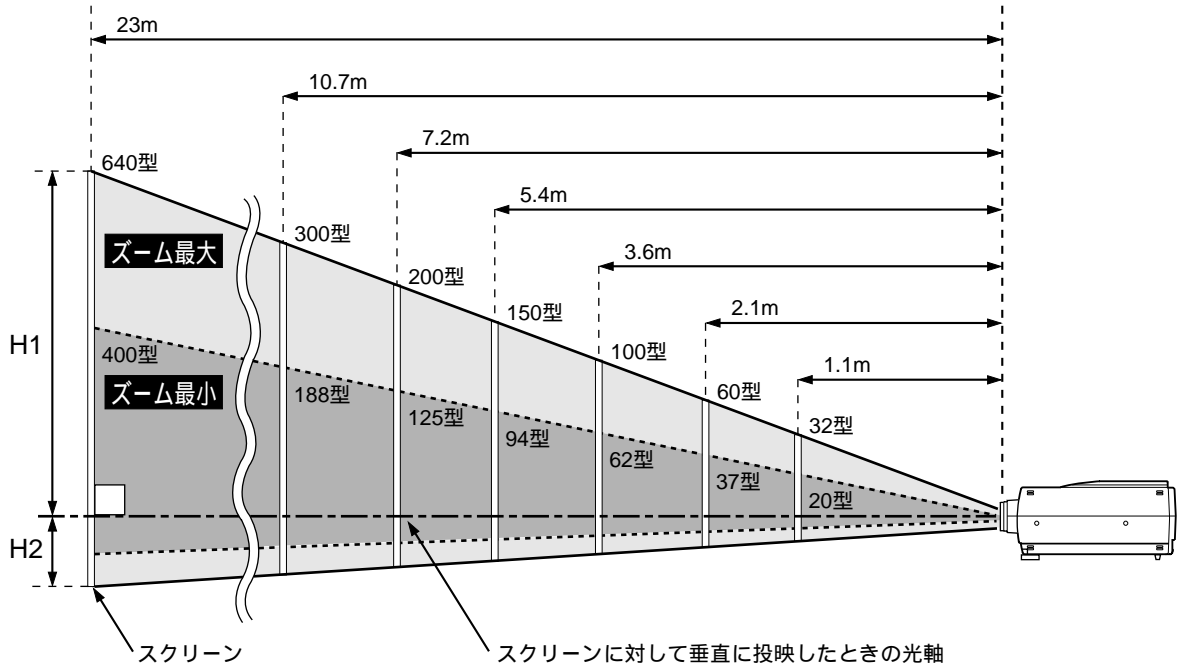


名 称	働 き
ZOOMボタン	映像のサイズを調整するときに使用します。
VOLUMEボタン	音量を調整するときに使用します。
MENUボタン	映像調整用の画面を表示したり、消去するときに使用します。
マウスボタン (右)	プロジェクターに接続されたコンピュータをリモート操作します。
AUDIO MUTEボタン	一時的に音声を消去します。
PICT. MUTEボタン	一時的に映像を消去します。
VIDEO/ COMPUTER1/ COMPUTER2ボタン	画面の入力をAV IN端子 / COMPUTER 1端子 / COMPUTER 2端子のいずれかに切り換えます。
STANDBY/ONボタン	電源の入 / 切をします。
FOCUSボタン	映像のピントを調整するときに使用します。
LASERボタン	リモコンのレーザー照射口からスクリーン上指示用のレーザー (赤色) が発光します。
マウスボタン (左)	プロジェクターに接続されたコンピュータをリモート操作します。
ポインタコントロール	プロジェクターに接続されたコンピュータをリモート操作します。
FREEZEボタン	映像を静止させるときに使用します。
CALLボタン	現在の入力ソース名を画面に表示するときに使用します。
SELECT/ADJUSTボタン ( ▲ / ▼ / ◀ / ▶ )	映像調整用の画面で調整項目を選択するときや数値を調整するときに使用します。

## 2. 設置

### スクリーンからの距離と画面サイズの関係

画面サイズはプロジェクターの投映レンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンから投映レンズまでの距離が約1.1m～23mの範囲に設置してください。



画面サイズと高さH1、H2

寸法単位：mm

画面サイズ	20型	60型	100型	150型	200型	300型	640型
幅×高さ	406×305	1219×914	2032×1524	3048×2286	4064×3048	6096×4572	13000×9750
高さH1	271	813	1355	2033	2711	4066	8670
高さH2	34	101	169	253	337	506	1080

[注] 投映映像の内容により画面サイズが異なる場合があります。

## 床置き正面投映

暗い場所で投映します。

[注] ・寒い場所から、急に暖かい場所に移動したときや部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が投映レンズやミラーに結露して画面がぼやけることがあります。周囲の状況で異なりますが、充分室温になじませてから（1～2時間後）ご使用ください。

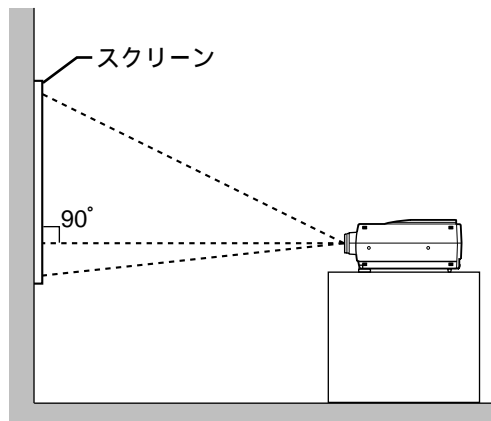
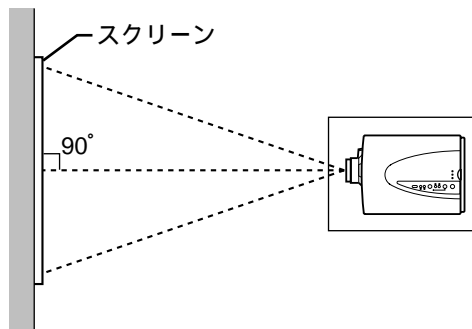
・吸気ファンをふさぐ恐れがありますので、ソファなどの柔らかいものの上に置いて使用しないでください。

(1) 投映レンズからスクリーンまでの距離を決めます。

参照 P.12 スクリーンからの距離と画面サイズの関係

(2) プロジェクターをテーブルなど平らで安定した場所に設置します。

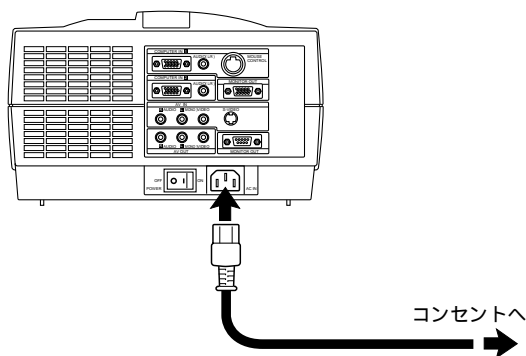
このとき、スクリーンに対してプロジェクターが直角に、プロジェクターの投映レンズの中心とスクリーンの中心が合うように設置してください。正しく設置しないと投映画面が歪みます。



(3) 本体のACソケットに電源コード、コンセントにプラグをそれぞれ差し込み、主電源スイッチをONにします。

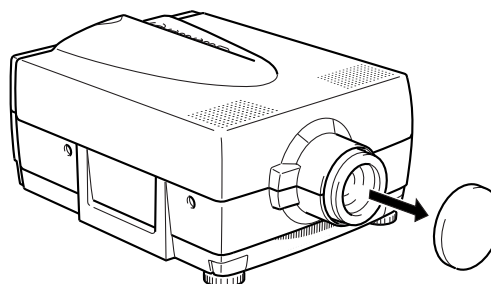
POWERインジケーターが橙色点灯します。

[注] 電源プラグのアース端子はアースに接続してください。



(4) レンズキャップを外します。

[注] レンズキャップはなくさないように保管してください。

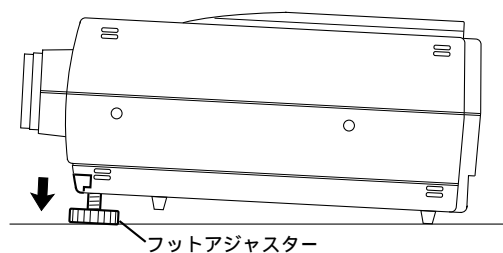
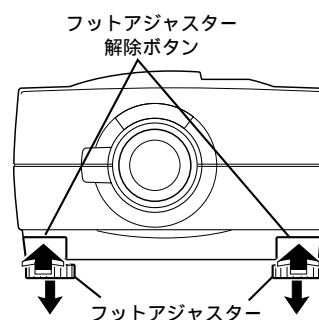


## フットアジャスターの使用法

フットアジャスターで本体の設置角を変えて投映位置を調整します。

- (1) プロジェクターの前部を持ち上げ、フットアジャスター解除ボタンを押します。フットアジャスターが伸びます。ボタンを離すとフットアジャスターが固定されます。

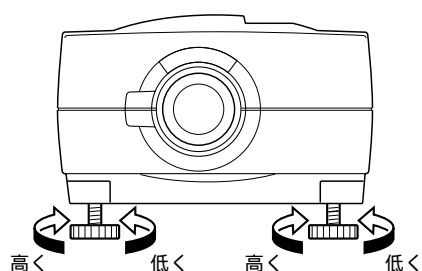
[注] フットアジャスター解除ボタンを押すときは、指を挟まないように本体両側を支えてください。



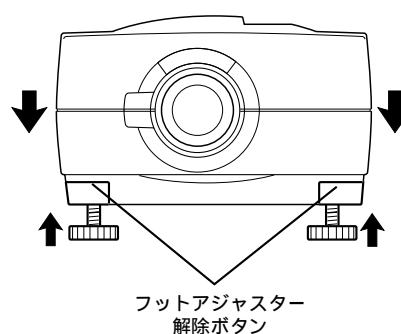
- (2) フットアジャスターを回して高さを調整します。

本体上面よりみて時計方向：高くなる  
本体上面よりみて反時計方向：低くなる

[注] 左右のフットアジャスターは、同じ高さになるように調整してください。



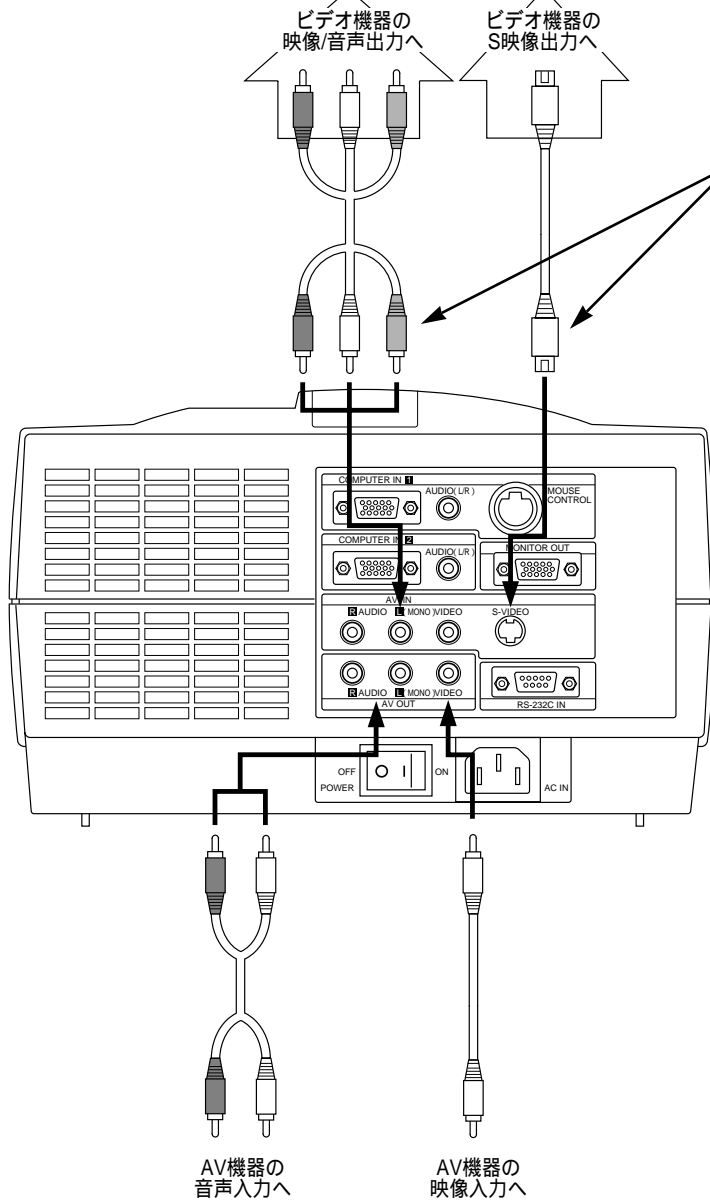
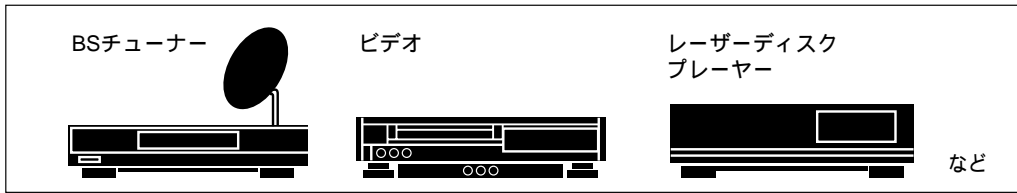
- (3) 収納するときは、フットアジャスター解除ボタンを押しながらゆっくり本体を下に降ろします。フットアジャスターが収納されます。



### 3.本体のセットアップ

#### ビデオ機器との接続

接続は市販のコードをお使いください。



- ・接続する機器の映像出力に合わせて信号入力端子を選択します。
- ・S-VHSビデオなどのS映像端子を持った機器は「S-VIDEO」へ接続します。
- ・VIDEO INPUT (ピンプラグ) 端子とS端子が両方接続されているときは、S端子の映像が映ります。
- ・VIDEO INPUT (ピンプラグ) 端子の映像を映すときは、S端子のプラグを抜きます。
- ・モノラルの音声信号を入力するときはAUDIO INPUT端子のL側へ接続します。

- ・アナログRGB端子のないコンピュータへは接続できません。詳しくは、コンピュータの説明書も合わせてご覧ください。
- ・コンピュータのモデルによっては接続できないことがあります。詳しくは販売店にご相談ください。
- ・COMPUTER IN端子にNTSC/PAL/SECAM信号を入力しても映すことはできません。(NTSC/PAL/SECAM信号はAV IN VIDEO端子に入力してください。)





## コンピュータとの接続

### IBM互換機コンピュータとの接続

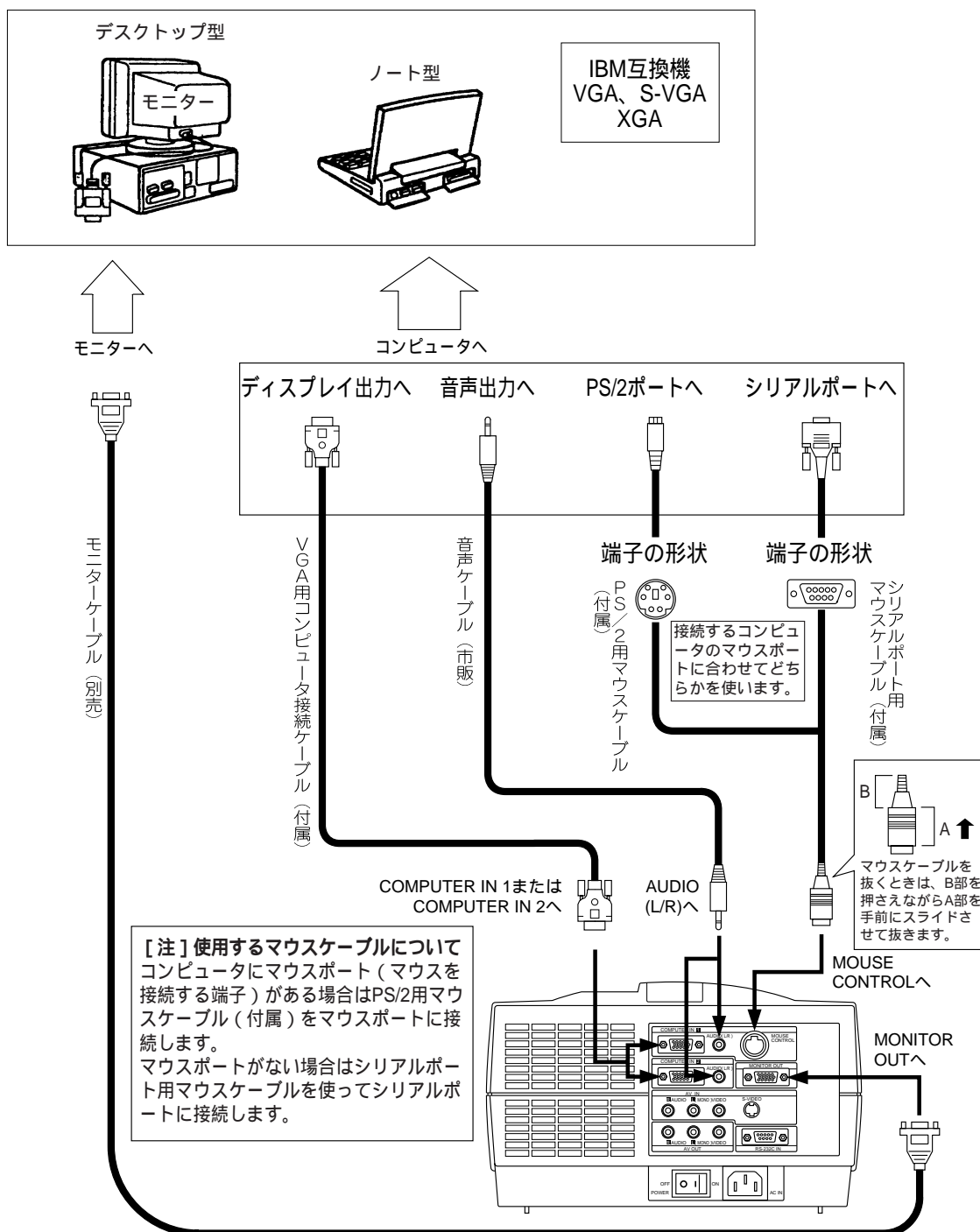
VGA、S-VGA、XGAコンピュータは以下の様に接続します。

使用するケーブル、アダプタの種類

- ・VGA用コンピュータ接続ケーブル（付属）
- ・PS/2ポート用マウスケーブルまたはシリアルポート用マウスケーブル（付属）  
本プロジェクターのリモコンでコンピュータを操作するとき必要
- ・両端がミニジャックステレオタイプの音声ケーブル（市販）  
本プロジェクターの内蔵スピーカーから音を出すとき必要
- ・モニターケーブル（別売 詳しくは販売店にお問い合わせください。）

モニターケーブルは投映映像をコンピュータモニターに映すときに必要です。ノート型の場合は不要です。

参照 P.47 付属品



## PC-98系コンピュータとの接続

PC-98、FM-TOWNSコンピュータは以下の様に接続します。

使用するケーブル、アダプタの種類

- ・VGA用コンピュータ接続ケーブル（付属）+ PC-98/VGA変換アダプタ（付属）
- ・PC-98用マウスケーブル（付属）

本プロジェクターのリモコンでコンピュータを操作するとき必要

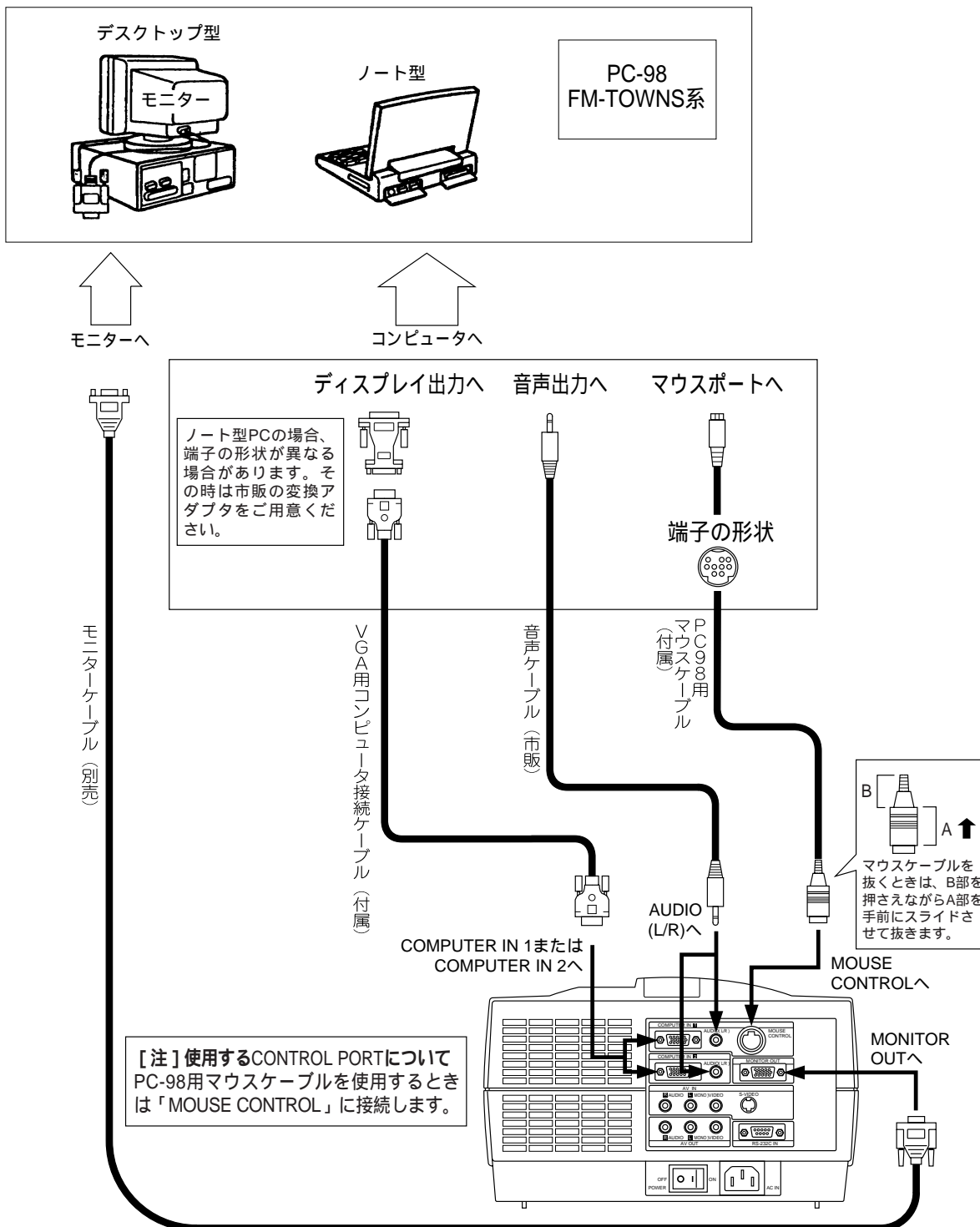
- ・両端がミニジャックステレオタイプの音声ケーブル（市販）

本プロジェクターの内蔵スピーカーから音を出すとき必要

- ・モニターケーブル（別売 詳しくは販売店にお問い合わせください。）

モニターケーブルは投映映像をコンピュータモニターに映すときに必要です。ノート型の場合は不要です。

参照 P.47 付属品



# Mac コンピュータとの接続

マッキントッシュコンピュータは以下の様に接続します。

## 使用するケーブル、アダプタの種類

- ・VGA用コンピュータ接続ケーブル（付属）+ Mac/VGA変換アダプタ（付属）
- ・Mac用マウスケーブル（付属）

本プロジェクターのリモコンでコンピュータを操作するとき必要

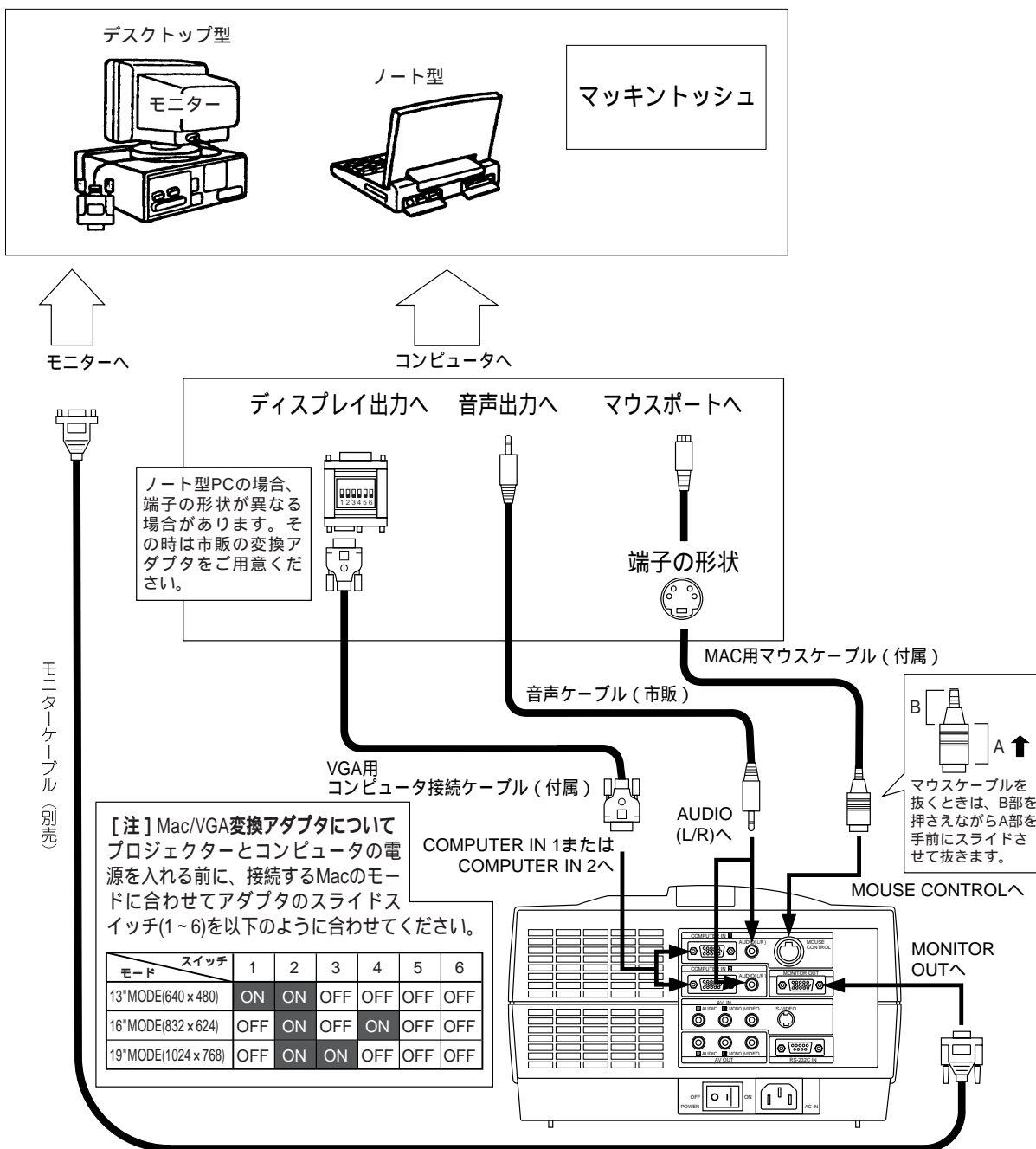
- ・両端がミニジャックステレオタイプの音声ケーブル（市販）

本プロジェクターの内蔵スピーカーから音を出すとき必要

- ・モニターケーブル（別売 詳しくは販売店にお問い合わせください。）

モニターケーブルは投映映像をコンピュータモニターに映すときに必要です。ノート型の場合は不要です。

参照 P.47 付属品



## 4. リモコンについて

[注] ・リモコン受光部に太陽や蛍光灯などの強い光をあてないでください。リモコンが動作しないことがあります。

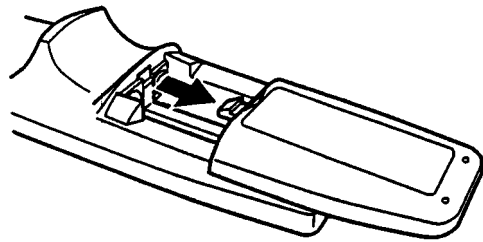
- ・落としたり、衝撃を与えないでください。
- ・高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- ・水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- ・分解しないでください。

### 乾電池の挿入

[注] ・リモコンを長時間使用しない場合は乾電池を取り外してください。

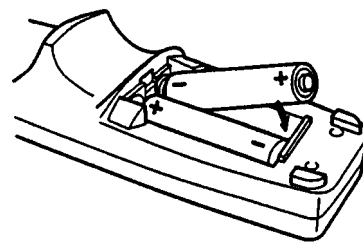
- ・乾電池は2本同時に交換してください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、すべて新しい電池と交換してください。(付属の電池はテスト用です。) 乾電池は寿命の長いアルカリ電池をおすすめします。
- ・液がもれた場合は電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を挿入してください。

#### (1) フタを外します。

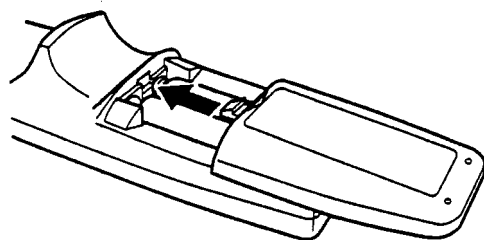


#### (2) 乾電池を挿入します。

[注] 乾電池の+、-を確認して挿入してください。



#### (3) フタを閉めます。



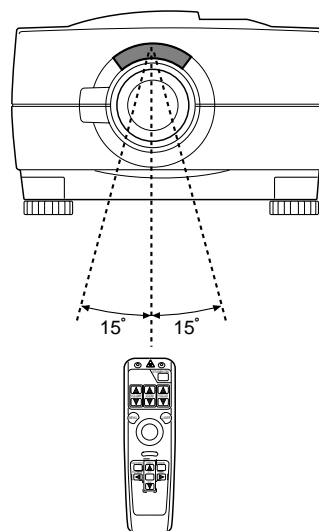
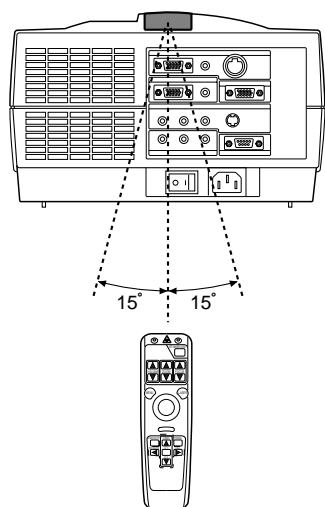
## リモコンの基本操作

本体のリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押します。

受光範囲

距離：リモコン受光部正面から約5m以内

角度：リモコン受光部から上下左右約15°以内

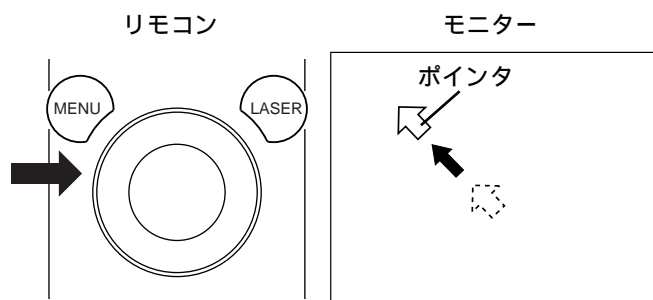


コンピュータをリモコンで操作します。

ポインタを動かすとき

ポインタコントロールを押します。

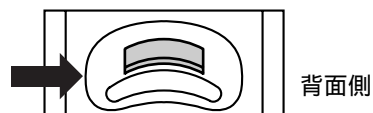
モニター上のポインタが押した方向に動きます。



クリックするとき

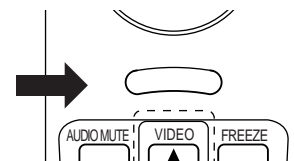
左クリック

背面のマウスポタン（左）を押します。



右クリック

マウスポタン（右）を押します。



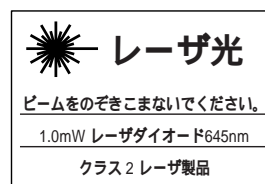
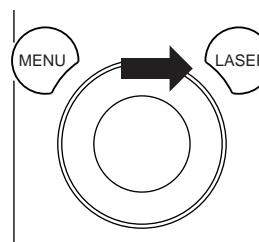
レーザーポインタについて

LASERボタンを押します。

リモコンのレーザー照射口からスクリーン上指示用レーザー（赤色）が発光します。

[注] ・リモコン本体裏側には、右図のようなレーザー警告説明ラベルが貼付されています。レーザー照射口をのぞきこまないでください。

・人に向かってレーザーを照射しないでください。



## 5.操作のしかた

[注] ・動作中は投映レンズをのぞき込まないでください。

・吸気ファンをふさぐ恐れがありますので、ソファなどの柔らかいものの上に置いて使用しないでください。

・メニュー画面表示中は、本体操作パネルからのZOOM/FOCUS操作はできません。リモコンから操作してください。

・入力映像がみだれる場合があった時は一度RESETを行なってください。

### 映像の操作

- (1) 操作パネル、またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押します。

緑色に点滅していたLAMPインジケータが点灯し、投映レンズが自動的に作動します。投映が可能です。



- (2) プロジェクターに接続されているコンピュータやビデオデッキなどの電源を入れて再生状態にします。

- (3) 操作パネルのINPUTボタンを押して映像を選択します。

または、リモコンのVIDEO、COMPUTER1、COMPUTER2ボタンのいずれかを押します。入力ソースが切り変わります。

VIDEOボタン：ビデオデッキなどからの映像

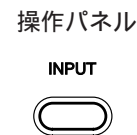
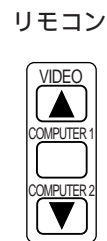
COMPUTER1ボタン：コンピュータからの映像

COMPUTER2ボタン：コンピュータからの映像

[注] ・接続機器からの信号が本プロジェクターに入力されていない場合「NO SIGNAL」が表示されます。接続機器を再生状態にしてください。

・MENUにより、INDICATE OFFの場合、何も表示されません。

・ランプの特性上、まれに画面がちらつくことがあります。故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。



- (4) 操作パネル、またはリモコンのVOLUMEボタンで音量を調整します。

+・ : 音量大

-・ : 音量小



- (5) 操作パネルのTELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.)ボタン、またはリモコンのZOOMボタンで画面の大きさを調整します。

+・ : 画面大

-・ : 画面小

[注] 直接投映レンズを回して調整しないでください。



- (6) 操作パネルのZOOM/FOCUSボタンと TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタン、またはリモコンのFOCUSボタンでピントを調整します。  
静止画でピントを調整してください。

[注] 直接投射レンズを回して調整しないでください。  
操作パネルの場合、ZOOM/FOCUSボタンは押したまま、調整を行ってください。

リモコン



操作パネル



## オプションメニューの設定

- (1) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを押します。  
モニターにメインメニュー画面が表示されます。

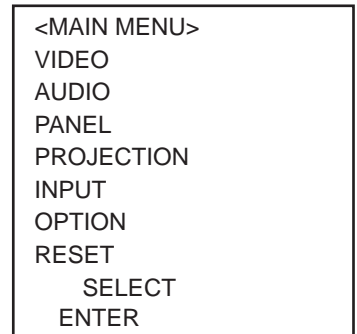
リモコン



操作パネル



モニター

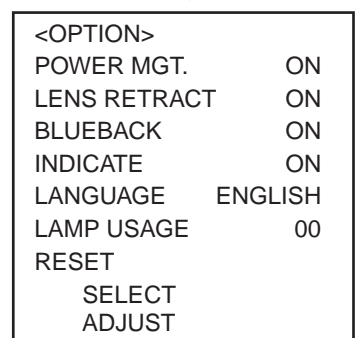
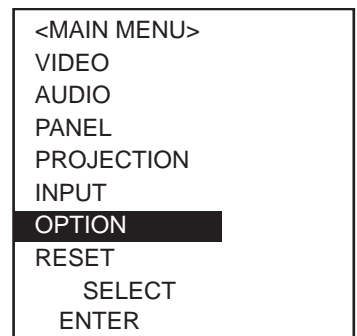
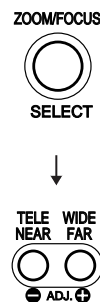


- (2) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタンを押して“OPTION”を選択し、TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタンの+を押します。  
または、リモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / を押して“OPTION”を選択し、ボタンを押します。  
オプションメニュー画面が表示されます。

リモコン



操作パネル



設定項目	設定内容	
POWER MGT. (パワーマネージメント)	ON	「NO SIGNAL」で無操作状態が5分続くとLAMPが自動的に消えます。
	OFF	「NO SIGNAL」で無操作状態が5分続いてもLAMPが自動的に消えません。
LENS RETRACT(レンズ収納)	ON	投射レンズがランプを点灯したとき自動送り出し、消灯したとき自動収納されます。
	OFF	投射レンズがランプを点灯したとき自動送り出し、消灯したとき自動収納されません。
BLUEBACK (背景)	ON	無信号時に背景が青色になります。
	OFF	無信号時に背景が黒色になります。
INDICATE (画面表示)	ON	表示する。
	OFF	表示しない。
LANGUAGE (言語)	表示言語を設定します。	
LAMP USAGE (ランプ使用時間)	ランプ使用時間が表示されます。	
RESET (リセット)	ランプ交換時に使用時間をリセットします。 ランプ交換時以外は操作しないでください。	

- (3) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタン、またはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して“LANGUAGE”を選択します。

リモコン



操作パネル



モニター

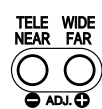
<OPTION>	
POWER MGT.	ON
LENS RETRACT	ON
BLUEBACK	ON
INDICATE	ON
<b>LANGUAGE</b>	ENGLISH
LAMP USAGE	00
RESET	
SELECT	
ADJUST	

- (4) 操作パネルのTELE/WIDE(NEAR/FAR., ADJ.)ボタンまたはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して表示させる言語を選択します。

リモコン



操作パネル



<OPTION>	
POWER MGT.	ON
LENS RETRACT	ON
BLUEBACK	ON
INDICATE	ON
<b>LANGUAGE</b>	ENGLISH
LAMP USAGE	00
RESET	
SELECT	
ADJUST	

選択できる言語	
ENGLISH	英語
Francais	フランス語
Deutsch	ドイツ語
Italiano	イタリア語
Español	スペイン語

- (5) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを2回押します。  
メインおよびオプションメニュー画面が消え、(4)で調整した言語が保持されます。

リモコン



操作パネル



## 映像の調整

- (1) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを押します。  
モニターにメインメニュー画面が表示されます。

リモコン



操作パネル



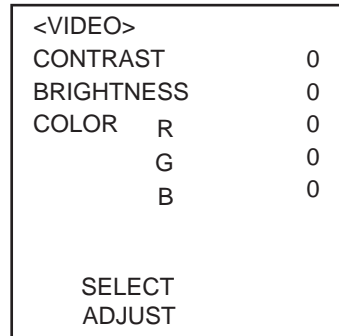
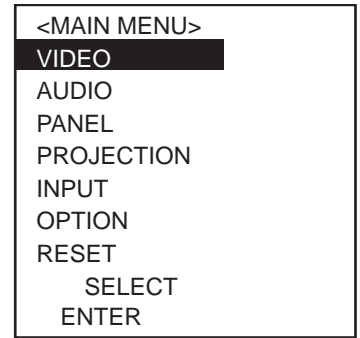
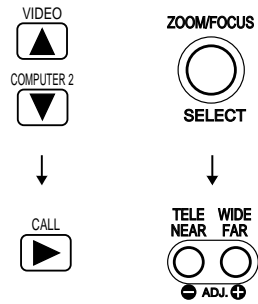
モニター

<MAIN MENU>	
VIDEO	
AUDIO	
PANEL	
PROJECTION	
INPUT	
OPTION	
RESET	
SELECT	
ENTER	

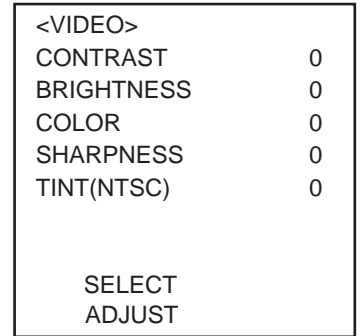


- (2) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタンを押して“VIDEO”を選択し、TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタンの+を押します。  
 または、リモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / を押して“VIDEO”を選択し、ボタンを押します。  
 ビデオメニュー画面が表示されます。

リモコン                      操作パネル                      モニター



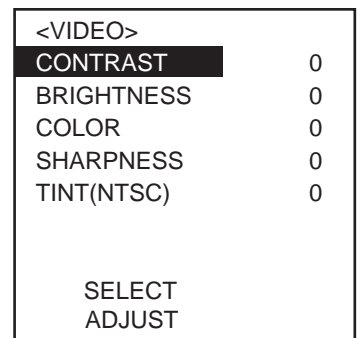
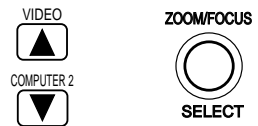
COMPUTER1,2入力時



VIDEO入力時

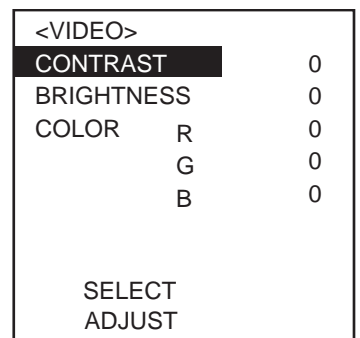
- (3) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタン、またはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して設定項目を選択します。

リモコン                      操作パネル



VIDEO入力時

設定項目	- ( )	+ ( )
CONTRAST (コントラスト)	弱くなる	強くなる
BRIGHTNESS (明るさ)	暗くなる	明るくなる
COLOR (色の濃さ)	色が弱くなる	色が強くなる
	R 赤色が弱くなる	赤色が強くなる
	G 緑色が弱くなる	緑色が強くなる
B 青色が弱くなる	青色が強くなる	
SHARPNESS (画質)	ソフトになる	鮮明になる
TINT (色あい)	赤色が強くなる	緑色が強くなる



COMPUTER1,2入力時

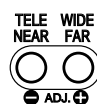
- (4) 操作パネルのTELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタンまたはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して映像を調整します。

[注] TINTはNTSC入力時のみ有効です。

リモコン



操作パネル



モニター

<VIDEO>	
CONTRAST	50
BRIGHTNESS	0
COLOR	0
SHARPNESS	0
TINT(NTSC)	0
SELECT	
ADJUST	

VIDEO入力時

<VIDEO>	
CONTRAST	50
BRIGHTNESS	0
COLOR	R 0
	G 0
	B 0
SELECT	
ADJUST	

COMPUTER1,2入力時

- (5) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを2回押します。  
メインおよびビデオメニュー画面が消え、(4)で調整した映像が保持されます。

リモコン



操作パネル



## オーディオの調整

- (1) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを押します。  
モニターにメインメニュー画面が表示されます。

リモコン



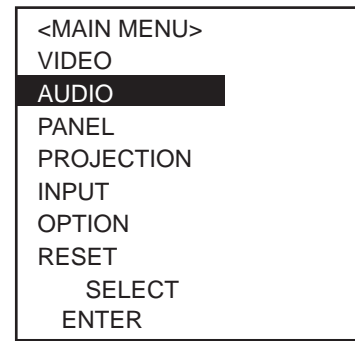
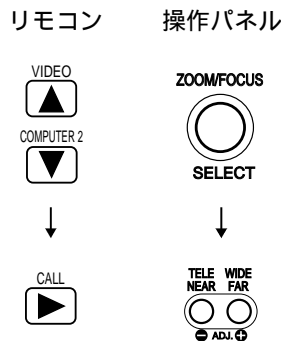
操作パネル



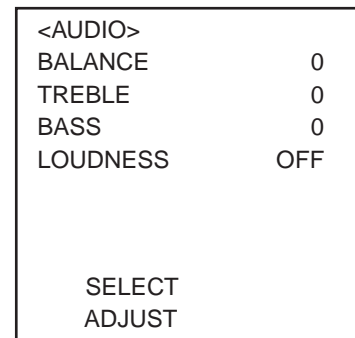
モニター

<MAIN MENU>	
VIDEO	
AUDIO	
PANEL	
PROJECTION	
INPUT	
OPTION	
RESET	
SELECT	
ENTER	

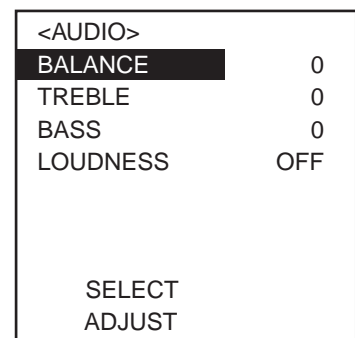
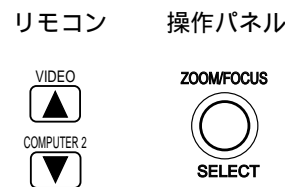
- (2) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタンを押して“AUDIO”を選択し、TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタンの+を押します。  
 または、リモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / を押して“AUDIO”を選択し、ボタンを押します。  
 オーディオメニュー画面が表示されます。



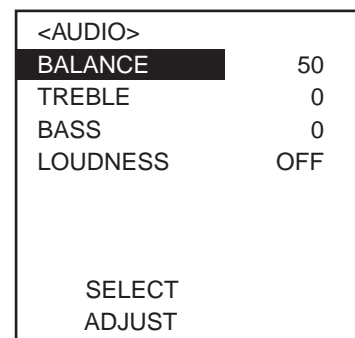
設定項目	(◀)	+ (▶)
BALANCE (音バランス)	左に移動する	右に移動する
TREBLE (高音)	弱くなる	強くなる
BASS (低音)	弱くなる	強くなる
LOUDNESS (重音)	ON・OFFする	



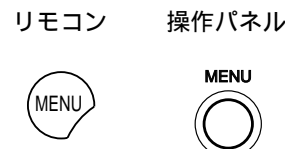
- (3) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタン、またはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して設定項目を選択します。



- (4) 操作パネルのTELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタンまたはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して音声を調整します。



- (5) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを2回押します。  
 メインおよびオーディオメニュー画面が消え、(4)で調整した音声が保持されます。



## 画面の調整

- (1) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを押します。  
モニターにメインメニュー画面が表示されます。

リモコン      操作パネル      モニター



<MAIN MENU>
VIDEO
AUDIO
PANEL
PROJECTION
INPUT
OPTION
RESET
SELECT
ENTER

- (2) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタンを押して“PANEL”を選択し、  
TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタンの+を押します。  
または、リモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / を押して“PANEL”を選択し、  
ボタンを押します。  
パネルメニュー画面が表示されます。

リモコン      操作パネル



<MAIN MENU>
VIDEO
AUDIO
<b>PANEL</b>
PROJECTION
INPUT
OPTION
RESET
SELECT
ENTER



<PANEL>
V-POSITION            0
H-POSITION           0
SUB                    0
RESIZE                OFF
WIDE                   OFF
SELECT
ADJUST

VIDEO入力時

<PANEL>
V-POSITION            0
H-POSITION           0
SUB                    0
PHASE                 0
CLOCK                 800
RESIZE                OFF
SELECT
ADJUST

COMPUTER1,2入力時

設定項目	設定内容
V-POSITION (上下画面位置)	画面を上( )下( )に移動する
H-POSITION (左右画面位置)	画面を左( )右( )に移動する
SUB	左右画面位置を微調整する
RESIZE (拡大表示)	画角の小さな映像を拡大表示する
WIDE (ワイド表示)	NTSCの映像をワイド表示する
PHASE (位相)	同期がずれて画面のちらつきがあるときに調整する
CLOCK (総ドット数)	画面の水平方向のドット数を調整する

(3) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタン、またはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して設定項目を選択します。

リモコン



操作パネル



モニター

<PANEL>	
V-POSITION	0
H-POSITION	0
SUB	0
RESIZE	OFF
WIDE	OFF
SELECT	
ADJUST	

VIDEO入力時

<PANEL>	
V-POSITION	0
H-POSITION	0
SUB	0
PHASE	0
CLOCK	800
RESIZE	OFF
SELECT	
ADJUST	

COMPUTER1,2入力時

(4) 操作パネルTELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.)ボタンまたはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して画面を調整します。

リモコン



操作パネル



<PANEL>	
V-POSITION	50
H-POSITION	0
SUB	0
RESIZE	OFF
WIDE	OFF
SELECT	
ADJUST	

VIDEO入力時

<PANEL>	
V-POSITION	50
H-POSITION	0
SUB	0
PHASE	0
CLOCK	800
RESIZE	OFF
SELECT	
ADJUST	

COMPUTER1,2入力時

[注] ・解像度が800×600以上の入力信号はRESIZEが有効になりません。

・WIDEはNTSC入力時のみ有効です。

参照 P.35 モード判定と信号形式について

(5) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを2回押します。メインおよびビデオメニュー画面が消え、(4)で調整した画面が保持されます。

リモコン

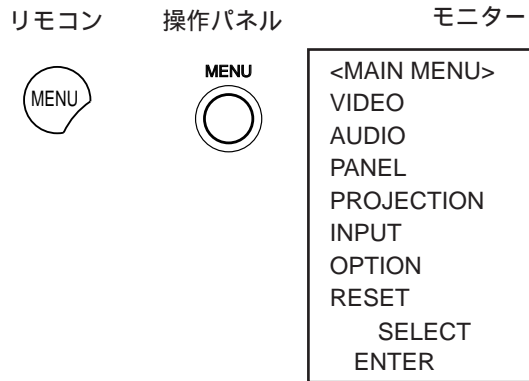


操作パネル

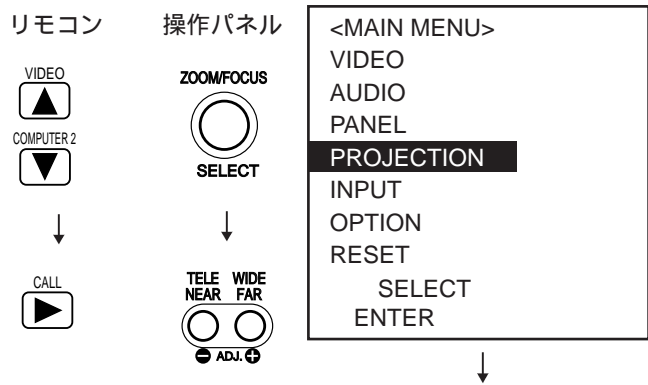


## 設定位置に合わせて画面の調整

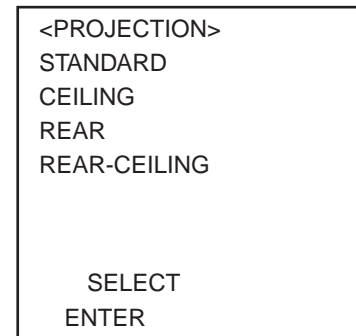
- (1) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを押します。  
モニターにメインメニュー画面が表示されます。



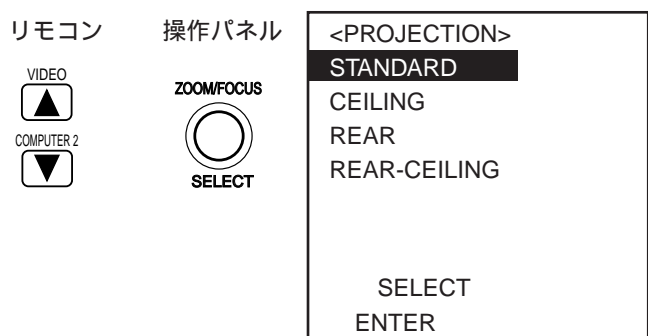
- (2) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタンを押して“PROJECTION”を選択し、TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.) ボタンの+を押します。  
または、リモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / を押して“PROJECTION”を選択し、 ボタンを押します。  
プロジェクションメニュー画面が表示されます。



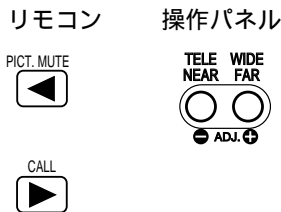
画面設定	STANDARD	CEILING	REAR	REAR-CEILING
スクリーンと本体の置きかた	床置き正面投映  床置きして正面から映像を見る	天吊り正面投映  天吊りして正面から映像を見る	床置きリア投映 半透過性スクリーン  床置きして半透過性スクリーンへ投映し、裏側から映像を見る	天吊りリア投映 半透過性スクリーン  天吊りして半透過性スクリーンへ投映し、裏側から映像を見る



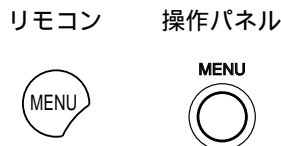
- (3) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタン、またはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して設定項目を選択します。



- (4) 操作パネルTELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.)ボタンまたはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して画面を調整します。

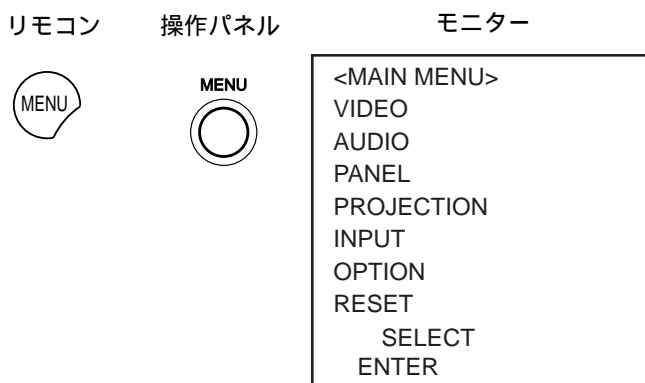


- (5) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを2回押します。メインおよびプロジェクションメニュー画面が消え、(4)で調整した画面が保持されます。

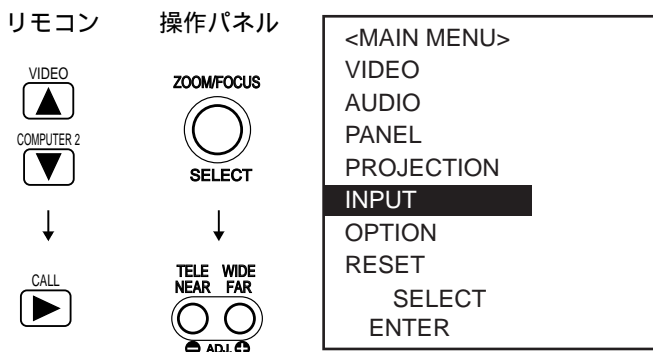


## 入力信号の制御

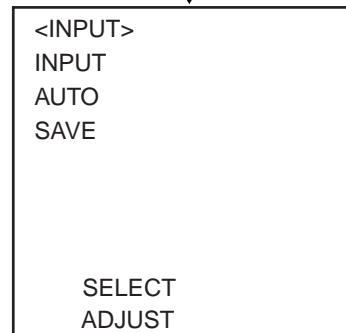
- (1) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを押します。モニターにメインメニュー画面が表示されます。



- (2) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタンを押して“INPUT”を選択し、TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.)ボタンの+を押します。または、リモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / を押して“INPUT”を選択し、ボタンを押します。インプットメニュー画面が表示されます。



設定項目		
INPUT	COMPUTER1,2入力時	AUTO,USER MODE1 ~ 6
	VIDEO入力時	AUTO,USER MODE1 ~ 6,NTSC PAL,SECAM,NTSC4.43
SAVE		USER MODE 1 ~ 6



[注] 入力 (INPUT) 選択

本機は、コンピュータまたはビデオの信号を自動的に判別し、適合するシステムを自動選択します。通常は“ AUTO ”を選択してください。

コンピュータ入力でシステムを最適に選択できない場合は“ パネルメニュー ”などで調整をして、“ USER MODE1~6 ”に登録し、次回からは登録した“ USER MODE 1~6 ”を選択します。

ビデオ入力で、入力信号の状態が悪く“ AUTO ”に設定してもシステムを自動選択できない場合は“ NTSC ”を選択してください。

登録 (SAVE)

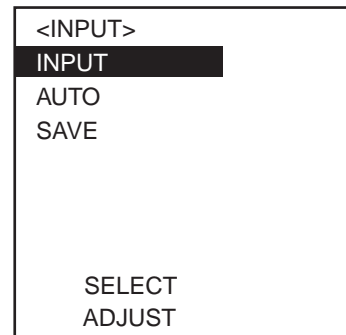
コンピュータ入力でシステムを最適に選択できない場合、コンピュータ入力やビデオ入力で画面を調整した場合は“ USER MODE 1~6 ”に登録することができます。

- (3) 操作パネルのZOOM/FOCUS(SELECT)ボタン、またはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して設定項目を選択します。

リモコン



操作パネル

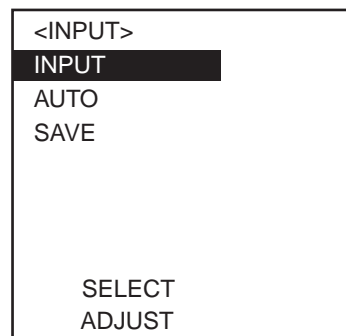
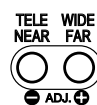


- (4) 操作パネルTELE/WIDE (NEAR/FAR, ADJ.) ボタンまたはリモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / ボタンを押して画面を調整します。

リモコン



操作パネル



- (5) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを2回押します。  
メインおよびインプットメニュー画面が消え、(4)で調整した制御方法が保持されます。

リモコン



操作パネル





## 画面の調整を初期値に戻す

- (1) 操作パネルまたはリモコンのMENU ボタンを押します。  
モニターにメインメニュー画面が表示されます。

リモコン



操作パネル



モニター

```
<MAIN MENU>
VIDEO
AUDIO
PANEL
PROJECTION
INPUT
OPTION
RESET
  SELECT
  ENTER
```

- (2) 操作パネルのZOOM/FOCUS (SELECT) ボタンを押して “ RESET ” を選択し、TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.)ボタンの+を押します。または、リモコンのSELECT/ADJUST ボタンの / を押して “ RESET ” を選択し、ボタンを押します。リセットメニュー画面が表示されます。

リモコン



操作パネル



```
RESET
Do you execute?
  YES
  NO
SELECT
ENTER
```

- (3) 操作パネルのZOOM/FOCUS (SELECT) ボタンを押して “ YES ”、“ NO ” を選択し、TELE/WIDE(NEAR/FAR, ADJ.)ボタンの+を押します。または、リモコンのSELECT/ADJUST ボタンの / を押して “ YES ”、“ NO ” を選択し、ボタンを押します。

リモコン



操作パネル



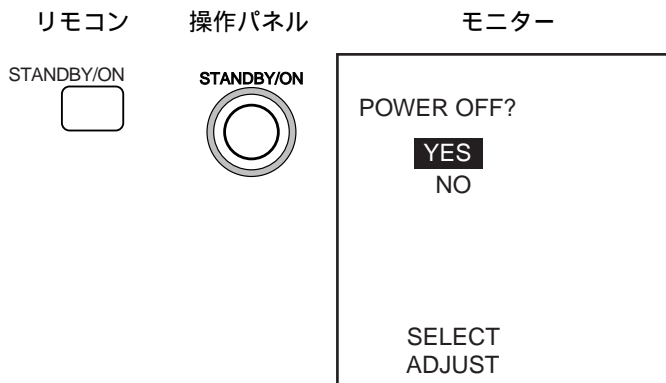
“ YES ” : 現在映している映像の調整値を初期値に戻します。

“ NO ” : 初期値に戻すのを中止します。

- (4) 操作パネルまたはリモコンのMENUボタンを1回押します。  
メインメニュー画面が消えます。

## 電源オフ

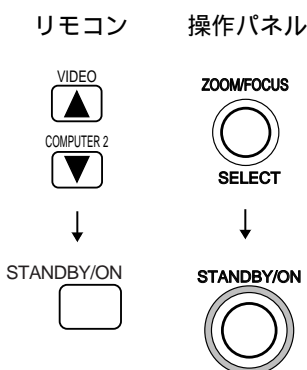
- (1) 操作パネルまたはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押します。  
パワーオフメニュー画面が表示されます。



- (2) 操作パネルのZOOM/FOCUS (SELECT)ボタンまたは、リモコンのSELECT/ADJUSTボタンの / を押して “ YES ”、“ NO ” を選択し、操作パネルまたは、リモコンのSTANDBY/ONボタンを押します。

“ YES ” : LAMPインジケータが消灯し、投影レンズが自動的に収納されます。スタンバイ状態です。  
また、内部の温度を下げるため、約2分間吸気ファン、排気ファンが回ります。

“ NO ” : 電源オフを中止します。



[注] 非常時以外は、投影レンズが収納される前に主電源スイッチをオフしたり、コンセントを抜いたりしないでください。  
すぐにSTANDBY/ONボタンを押してもLAMPインジケータが緑色に点滅しているときは電源は入りません。

- (3) 吸気ファン、排気ファンが停止した後、主電源スイッチをオフします。

[注] ランプの寿命および性能が低下する恐れがあるため、非常時以外は吸気ファン、排気ファンが停止するまで、絶対に主電源スイッチをオフしないでください。

## 6.各種機能について

### ミュート

#### 映像を一時的にけすとき

リモコンのPICT.MUTEボタンを押します。  
再度PICT.MUTEボタンを押すと映像が出力  
されます。  
画面の表示は、表示されてから約3秒経過す  
ると自動的に消えます。

リモコン



#### 音声を一時的にけすとき

リモコンのAUDIO MUTEボタンを押します。  
再度AUDIO MUTEボタンを押すと音声が出  
力されます。  
画面の表示は、表示されてから約3秒経過す  
ると自動的に消えます。

リモコン



### 入力信号の画面表示

リモコンのCALLボタンを押します。  
現在の入力ソースを表示します。  
画面の表示は表示されてから約3秒経過すると、  
自動的に消えます。

リモコン



[注] MENUでINDICATE OFFに設定した場合、  
何も表示されません。

### 映像の静止

リモコンのFREEZEボタンを押します。  
投映中の映像が静止します。  
映像静止中は画面の左側に「FREEZE」が表示さ  
れます。  
画面の表示は、表示されてから約3秒経過すると  
自動的に消えます。  
再度FREEZEボタンを押すと静止が解除されます。

リモコン

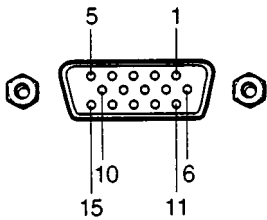


[注] MENUでINDICATE OFFに設定した場合は  
何も表示されません。

## 7.入力信号について

### RGB入力信号について

#### 信号割付について



Dサブ15ピンシュリンク端子

#### 入力信号

映像信号	アナログ 0.7V(p-p) 75 終端
水平同期信号	TTLレベル (正/負極性)
垂直同期信号	TTLレベル (正/負極性)
複合同期信号	TTLレベル

#### 端子配列

ピン番号	
1	映像入力(赤)
2	映像入力(緑)
3	映像入力(青)
4	N.C
5	GND
6	GND(赤)
7	GND(緑)
8	GND(青)
9	N.C
10	GND
11	GND
12	N.C
13	水平同期/複合同期信号
14	垂直同期信号
15	N.C

### モード判定と信号形式について

#### [注]

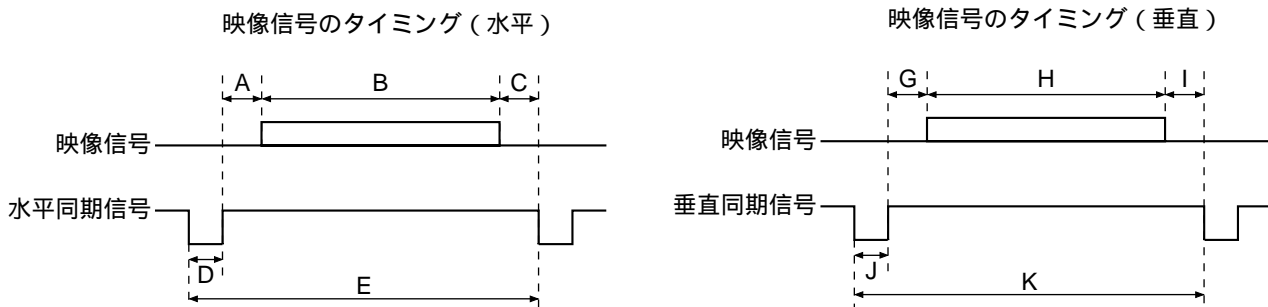
- ・モード判定されても、信号の周波数によっては正常に表示されない場合があります。
- ・XGA信号は簡易対応しており、投映できますが、文字や罫線などが不均一になったり、一部欠ける場合があります。また、信号によっては簡易表示できない場合があります。
- ・下表にないモードに判定された場合は、画面を調整してください。
- ・XGA85Hzモードは初期設定されていますが、正常に表示されない場合があります。この場合は、コンピュータ側の出力をXGA75Hzに切り換えてください。
- ・コンピュータの機種によっては、本プロジェクターで対応できない出力モードをもっているものがあります。端子形状、信号レベル、タイミング、解像度などの適合性を確認してください。

信号		周波数		解像度(本)		同期	初期設定	備考
モード	内容	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平	垂直	H/V		
NEC24K	PC98スタンダード	24.830	56.420	640	400	N/N		RGB
TEXT85	VGA85Hz-1	37.861	85.080	640	350	P/N		RGB
TEXT85	VGA85Hz-2	37.861	85.080	640	400	N/P		RGB
VGA60	VGA60Hz	31.469	59.940	640	480	N/N		RGB
VGA72	VGA72Hz	37.861	72.809	640	480	N/N		RGB
VGA75	VGA75Hz	37.500	75.000	640	480	N/N		RGB
VGA85	VGA85Hz-4	43.269	85.008	640	480	N/N		RGB
MAC13	MAC-13"	35.000	66.667	640	480	-/-		RGB
SVGA56	SVGA56Hz	35.156	56.250	800	600	P/P		RGB
SVGA60	SVGA60Hz	37.879	60.317	800	600	P/P		RGB
SVGA72	SVGA72Hz	48.077	72.188	800	600	P/P		RGB
SVGA75	SVGA75Hz	46.875	75.000	800	600	P/P		RGB
SVGA85	SVGA85Hz	53.674	85.061	800	600	P/P		RGB
MAC16	MAC-16"	49.724	74.550	832	624	-/-		RGB
XGA60	XGA60Hz	48.363	60.004	1024	768	N/N		RGB
XGA70	XGA70Hz	56.476	70.069	1024	768	N/N		RGB
XGA75	XGA75Hz	60.023	75.029	1024	768	P/P		RGB
XGA85	XGA85Hz	68.677	84.997	1024	768	P/P		RGB
MAC19	MAC-19"	60.241	74.927	1024	768	N/N		RGB

**初期設定信号について**

各モードでは、下表のように初期設定しています。ただし、コンピュータの機種によって異なる場合がありますので、画にちらつきやにじみがあるときは、画面を調整してください。

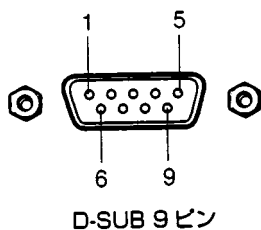
**タイムチャート**



種 類	A (画素数)	B (画素数)	C (画素数)	D (画素数)	E (画素数)	fh (kHz)	fv (Hz)	clock (MHz)	G (走査数)	H (走査数)	I (走査数)	J (走査数)	K (走査数)
24k (NEC24k) 640 × 400	85	640	59	64	848	24.83	56.42	21.053	25	400	7	8	440
VGA@60 (VGA60) 640 × 480	48	640	16	96	800	31.47	59.94	25.175	33	480	10	2	525
VGA@72 (VGA72) 640 × 480	128	640	24	40	832	37.86	72.81	31.500	28	480	9	3	520
VGA@75 (VGA75) 640 × 480	120	640	16	64	840	37.50	75.00	31.500	16	480	1	3	500
VGA@85 (TXET85) 640 × 350	96	640	32	64	832	37.86	85.08	31.500	60	350	32	3	445
VGA@85 (TXET85) 640 × 400	96	640	32	64	832	37.86	85.08	31.500	41	400	1	3	445
VGA@85 (VGA85) 640 × 480	80	640	56	56	832	43.27	85.01	36.000	25	480	1	3	509
Macintosh13" (MAC13) 640 × 480	96	640	64	64	864	35.00	66.67	30.240	39	480	3	3	525
SVGA@56 (SVGA56) 800 × 600	128	800	24	72	1024	35.16	56.25	36.000	22	600	1	2	625
SVGA@60 (SVGA60) 800 × 600	88	800	40	128	1056	37.88	60.32	40.000	23	600	1	4	628
SVGA@72 (SVGA72) 800 × 600	64	800	56	120	1040	48.08	72.19	50.000	23	600	37	6	666
SVGA@75 (SVGA75) 800 × 600	160	800	16	80	1056	46.88	75.00	49.500	21	600	1	3	625
SVGA@85 (SVGA85) 800 × 600	152	800	32	64	1048	53.67	85.06	56.250	27	600	1	3	631
Macintosh16" (MAC16) 832 × 624	216	832	40	64	1152	49.72	74.55	57.283	39	624	1	3	667
XGA@60 (XGA60) 1024 × 768	160	1024	24	136	1344	48.363	60.004	65.000	29	768	3	6	806
XGA@70 (XGA70) 1024 × 768	144	1024	24	136	1328	56.476	70.069	75.000	29	768	3	6	806
XGA@75 (XGA75) 1024 × 768	176	1024	16	96	1312	60.023	75.029	78.750	28	768	1	3	800
XGA@85 (XGA85) 1024 × 768	208	1024	48	96	1376	68.677	84.997	94.500	36	768	1	3	808
Macintosh19" (MAC19) 1024 × 768	176	1024	32	96	1328	60.241	74.927	80.000	30	768	3	3	804

## RS-232C端子での調整および制御

RS-232C端子にコンピュータからの信号を入力してプロジェクターをコントロールします。



### 端子配列

ピン番号	信号名	意味
1	N.C	ノンコネクション
2	RXD	受信データ
3	TXD	送信データ
4	DTR	データ端末レディ
5	GND	信号グランド
6	DSR	データセットレディ
7	RTS	送信要求
8	CTS	送信可
9	N.C	ノンコネクション

### インターフェースのフォーマット

インターフェースは以下のフォーマットに基づいています。

1	通信方法	RS-232C 不平衡 + 8DATA + 1 STOP bit					
2	データフォーマット	ASCIIコード					
3	速度	9600 bps					
4	通信フォーマット	操作コマンド <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">STX</td> <td style="width: 30%;">コマンド(2Byte)</td> <td style="width: 15%;">パラメータ</td> <td style="width: 20%;">データ(2Byte)</td> <td style="width: 25%;">ETX</td> </tr> </table>	STX	コマンド(2Byte)	パラメータ	データ(2Byte)	ETX
STX	コマンド(2Byte)	パラメータ	データ(2Byte)	ETX			
5	返信	応答 <input type="text" value="ACK(06h)"/> 非応答 <input type="text" value="NAK(15h)"/>					
6	フロー制御	RTS、CTS信号で行う。					

### 操作コマンド一覧表

#### (1) 通常用コマンド

動作	コマンド	パラメーター	データ注1)	備考
STAND BY/ON	ON	0(OFF) 1(ON)		
フォーカス	FO	+(NEAR) -(FAR) 0(STOP)		注2)
ズーム	ZO	+(TELE) -(WIDE) 0(STOP)		注2)
入力切替	AV	0(VIDEO) 1(CMP.1) 2(CMP.2)		
コントラスト	CN	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		注3)
明るさ	BR	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		注3)
カラー	CL	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		ビデオ画面のみ有効 注3)

動作	コマンド	パラメーター	データ注1)	備考
カラー R	RC	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		コンピュータ画面のみ有効 注3)
カラー G	GC	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		コンピュータ画面のみ有効 注3)
カラー B	BC	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		コンピュータ画面のみ有効 注3)
画質	SH	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		ビデオ画面のみ有効 注3)
色合い	TI	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		ビデオ画面のみ有効 注3)
音量	VO	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		注3)
バランス	BL	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		注3)
高音	TE	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		注3)
低音	BA	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		注3)
ラウドネス	LO	0(OFF) 1(ON)		
ミュート	MU	0(AUDIO/OFF) 1(AUDIO/ON) 2(PICT./OFF) 3(PICT./ON)		
水平位置	HP	+(RIGHT) -(LEFT) S(STATUS)		注3)
水平位置(SUB)	HS	+(RIGHT) -(LEFT) S(STATUS)		注3)
垂直位置	VP	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		注3)
PHASE	PH	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		注3)
CLOCK	CK	+(UP) -(DOWN) S(STATUS)		注3)
リサイズ	RS	0(OFF) 1(ON)		

動作	コマンド	パラメーター	データ注1)	備考
ワイド	WI	0(OFF) 1(ON)		ビデオ画面(NTSC)のみ有効
投影	PR	0(STD) 1(CEL) 2(REAR) 3(REAR, CEL)		
パワーマネージメント	MG	0(OFF) 1(ON)		
レンズ収納	LR	0(OFF) 1(ON)		
ブルーバック	BK	0(OFF) 1(ON)		
表示	IN	0(OFF) 1(ON)		
言語	LA	0(ENGLISH) 1(FRENCH) 2(GERMAN) 3(ITALIAN) 4(SPANISH)		
フリーズ	FZ	0(OFF) 1(ON)		
コール	CA	0		
セーブ	SV	0		
INPUT	UL	0(AUTO) 1(USER MODE 1) 2(USER MODE 2) 3(USER MODE 3) 4(USER MODE 4) 5(USER MODE 5) 6(USER MODE 6) 7(NTSC) 8(PAL) 9(SECAM) A(NTSC 4.43)		
ユーザー登録	US	1 2 3 4 5 6		
ローカルロックアウト	LL	0(OFF) 1(ON)		本体スイッチを無効にするコマンドです。
デフォルト	DF	0		電源投入時の状態に戻すコマンドです
ステータス要求	QS	0 1		機器の状態を問い合わせるコマンドです。注4)
ROMバージョン	QR	0		ROMバージョンを参照するコマンドです。注5)
応答データ選択1	SA	0(OFF) 1(ON)		各操作コマンドに対する応答の有無を選択するコマンドです。 デフォルトはONです。
応答データ選択2	SC	0(OFF) 1(ON)		応答データの終わりにCR[ODh]をつけます。 デフォルトはOFFです。



[注]

- 1) データ中は、SPACE[20H]を2回送信してください。
- 2) +(UP)または-(DOWN)コマンドを送信後、停止させたい時点で0(STOP)コマンドを送信します。
- 3) +(UP)または-(DOWN)コマンドを送信すると1ステップ増減します。  
S(STATUS)コマンドにより設定値が送信されます。

STX	データ(4Byte)	ETX
-----	------------	-----

- 4) ステータス要求応答フォーマット(応答データは、操作コマンド一覧表のパラメータに対応)

STX	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	ETX

- |                 |                   |                |
|-----------------|-------------------|----------------|
| ①...STAND BY/ON | ②...入力切換          | ③...ラウドネス      |
| ④...ミュート(AUDIO) | ⑤...ミュート(PICTURE) | ⑥...リサイズ       |
| ⑦...投影          | ⑧...パワーマネージメント    | ⑨...レンズ収納      |
| ⑩...言語          | ⑪...フリーズ          | ⑫...ローカルロックアウト |
| ⑬...ワイド         | ⑭...ブルーバック        | ⑮...表示         |
| ⑯...INPUT       | ⑰...予約            |                |

- 5) ROMバージョン応答フォーマット

STX	D	L	P	*	.	*	ETX
-----	---	---	---	---	---	---	-----

## 8.異常表示について

内部に異常が発生すると、インジケータが点灯します。

[注] 異常時の処置は電源オフしてから行ってください。

参照 P.33 電源オフ

インジケータ			症状および原因	処置のしかた
POWER	LAMP	TEMP		
橙点灯	消灯	消灯	スタンバイ状態(正常)	_____
緑点灯	緑点滅	消灯	ランプ点灯の最中、またはアフタークーリングの最中。(正常)	_____
緑点灯	緑点灯	消灯	ランプ点灯 (投映中) (正常)	_____
消灯	-	橙点滅	使用中にランプが消えた、またはランプが点灯しない。 内部が高温になっている。または気温の高いところで使っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 吸気ファン、排気ファンの通気孔をふさがないように正しく設置してください。</li> <li>・ エアフィルターを掃除してください。</li> <li>・ 温度が下がると自動的にスタンバイ状態に戻ります。 (長い時間スタンバイ状態に戻らないようなときは、電源コードを抜き、販売店に連絡してください。)</li> </ul>
赤点灯	-	消灯	使用中にランプが消えた、またはランプが点灯しない。 ファンの異常です。	電源コードを抜き、販売店に連絡してください。
-	橙点滅	-	ランプ寿命の50時間前です。	ランプを交換してください。
-	橙点灯	-	ランプ寿命を超えました。	
上記以外			本機の異常です。	電源コードを抜き、販売店に連絡してください。

## 9.故障かな？と思ったら

故障かな？とお思いのときはアフターサービスをご依頼になる前に次の点を調べてください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。	電源コードが抜けている。	電源コードをしっかり差し込む。
	ランプカバーがはずれている。	ランプカバーをきちんとはめる。
使用中に電源が切れる。	使用している周囲の温度が高い。	使用している周囲の温度を下げて、電源を入れ直す。
映像が出ない。	レンズキャップが付いている。	レンズキャップをはずす。
	入力切り換えが間違っている。	INPUTボタンで正しく選択する。
	映像ミュート機能が働いている。	PICT.MUTEボタンを押して映像を出す。
	明るさ調整が最も暗くなっている。	明るさを調整する。
	本体への接続が正しくされていない。	本体へ正しく接続する。
音が出ない。	入力切り換えが間違っている。	INPUTボタンで正しく選択する。
	音声ミュート機能が働いている。	AUDIO MUTEボタンを押して音を出す。
	音量が最小になっている。	VOLUMEボタンで音量を調整する。
	本体への接続が正しくされていない。	本体へ正しく接続する。
映像がぼやける。 または、映像の一部しか ピントが合わない。	レンズが汚れている。	レンズを清掃する。 市販のレンズクリーナーできれいにする。
	レンズやミラーが結露している。	室温になじませてから使用する。
	ピントが合っていない。	ピントを合わせる。
	投射距離が合っていない。	投射距離を正しく設定する。
	投射光がスクリーンに対し直角になっていない。	投射光がスクリーンに直角になるように設置する。
	明るさ、コントラスト、画質、同期位相の調整が合っていない。	映像または画面の調整をする。
映像が暗い。	明るさ、コントラストの調整が合っていない。	映像の調整をする。
	ランプの寿命が近い。	新しいランプと交換する。
色がうすい。 色あいが悪い。	色の濃さ、色あい、Rレベル、Gレベル、Bレベルの調整が合っていない。	映像または画面の調整をする。
	ランプの寿命が近い。	新しいランプと交換する。
リモコンが働かない。	リモコンが受光部に向いていない。	リモコンの送信部をプロジェクターの受光部に向ける。
	リモコンと受光部の間が遠すぎる。	約5m以内のところで操作する。
	リモコンと受光部の間に障害物がある。	障害物を取り除く。
	リモコンの電源が消耗している。	電池を交換する。

## 10.メンテナンス

[注] 天吊り設置でのメンテナンスは、販売店にご依頼ください。

### エアフィルターの清掃

エアフィルターは、プロジェクター内部へのほこりやごみの侵入を防ぎます。こまめに清掃してください。清掃のめやすは使用時間50時間に1回です。

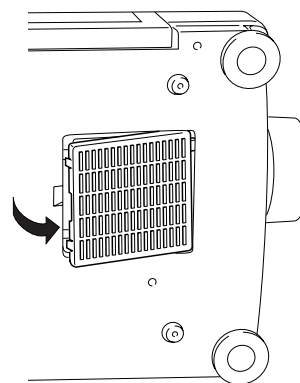
[注] エアフィルターを外した状態で使用しないでください。

- (1) 電源オフします。

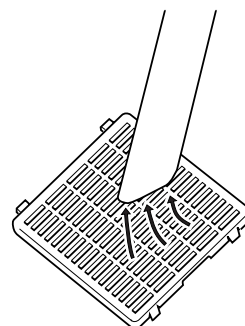
参照 P.33 電源オフ

- (2) 電源コードを抜きます。

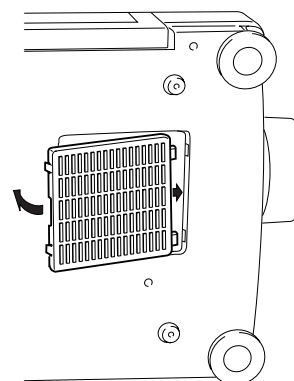
- (3) プロジェクター底部のエアフィルターカバーを取り外します。



- (4) 掃除機などでほこり、汚れを吸い取ります。



- (5) エアフィルターカバーを取り付けます。



## 投影レンズの清掃

投影レンズは市販のブローワーやレンズクリーナーで清掃します。

[注] 投影レンズの表面は傷つきやすいため、かたいものでこすったり、たいたりしないでください。

## 本体の清掃

- (1) 電源オフします。

**参照** P.33 電源オフ

- (2) 電源コードを抜きます。  
(3) 柔らかい布で軽く汚れを拭き取ります。  
汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽く拭き取ってから乾拭きしてください。

## 吸気、排気ファンについて

性能維持のため、2～3年をめやすに交換してください。お買い上げの販売店にご依頼ください。

## ランプの交換

プロジェクターで使用している光源用ランプには寿命があり、長時間使用すると、映像が暗くなったり、ランプが点灯しなくなる場合があります。

新しいランプと交換してください。

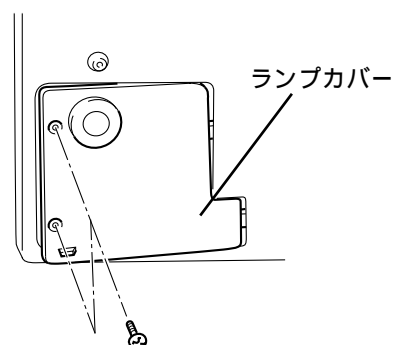
使用ランプ：EDPL30（別売）

**参照** ランプの説明書

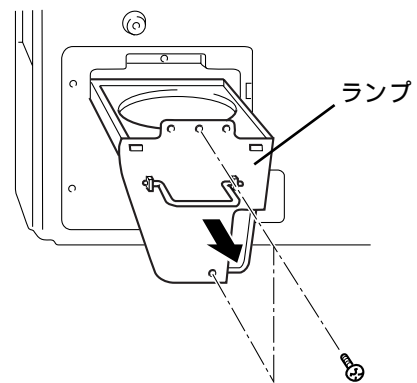
- (1) 電源オフします。  
(2) 電源コードを抜きます。  
(3) ランプの温度が下がるまで待ちます。

[注] 使用直後のランプは高温になっており、やけどの原因になります。  
1時間以上待ち、ランプの温度が下がってから交換してください。

- (4) プロジェクター底部のランプカバーのネジ2点を外し、ランプカバーを左へずらして取り外します。



- (5) ランプのネジ2点を外し、ランプを取り出します。



- (6) ランプを取り出したときと逆の手順で新しいランプを取り付けます。

- (7) ランプタイマーをリセットします。

**参照** ランプの説明書

P22 オプションメニューの設定

## 11.仕様

### 本体部

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	200W
質量	7kg
外形寸法	幅273mm 高さ150mm 奥行352mm (突起部含まず) 幅276.5mm 高さ176mm 奥行399mm (突起部含む)
使用条件	温度：5 ~ 35 湿度：30% ~ 70%以下
ランプ	UHP lamp 120W
スピーカー	1.5W + 1.5W (ステレオ)
RGB入力端子	RGB信号：ミニDサブ15ピン 音声：500mV(rms)インピーダンス47k 以上、3.5mmステレオミニジャック
VIDEO入力端子	S映像：ミニDIN4ピン Y入力：0.714V(p-p)、75、負同期 C入力：0.286V(p-p) (パースト信号)、75 映像：1V(p-p)、75、負同期、ピンジャック 音声：500mV(rms)インピーダンス47k 以上、ピンジャック (L、R)
出力端子	RGB信号：Dサブ15ピン 音声：500mV(rms)インピーダンス5k 以下、ピンジャック (L、R)
CONTROL端子	Dサブ9ピン (RS-232C)、マウスポート
キャビネット材質	ABS樹脂

### 液晶パネル部

表示方法	透過型3板式
パネルサイズ	1.3型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	519,168画素 (横832 縦624ドット) 3枚

### 投映レンズ部

レンズ	1.6倍ズームレンズ F=2.5 ~ 3.5 f=47.6mm ~ 76.0mm
フォーカス調整	電動
ズーム調整	電動

## 12.付属品

ワイヤレスリモコン	1個
単三型乾電池 (R6P)	2個
電源コード	1本
ディスプレイケーブル	1本
MAC用アダプター	1個
PC-98用アダプター	1個
レンズキャップ	1個
PS/2用ケーブル	1本 (12Pコネクタ - ミニDin 6ピン)
シリアル用ケーブル	1本 (12Pコネクタ - ミニDサブ 9ピン)
MAC用ケーブル	1本 (12Pコネクタ - ミニDin 4ピン)
PC-98用ケーブル	1本 (12Pコネクタ - ミニDin 9ピン)

- ・意匠、使用などは改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材料名表示をしています。

### 商標について

NEC、PC-98シリーズは日本電気株式会社の商標です。

IBM、DOS/V、SXGA、VGA、S-VGA、XGAは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。

Macintoshは、Apple Computer Inc. の登録商標です。

# 保証とアフターサービス

必ずお読みください。

## 保証書（別添）

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

お買上げの日から1年間です。ただし、ランプについては6ヶ月または1000時間の短い方です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

液晶データプロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

## 修理を依頼される時は～持ち込み修理

41ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは電源を切り、お買上げの販売店にお問い合わせください。

### 保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	液晶データプロジェクター
形名	EDP-3000
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様へ...おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

便利メモ お買上げ 店名	でんわ( ) -
--------------------	----------

## 長年ご使用の液晶データプロジェクターの点検をぜひ!!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながる可能性があります。

ご使用の際、このような症状はありませんか

電源を入れても映像が出ない。  
電源プラグ、コードが異常に熱い。  
変な臭いや音がする。  
水や異物が入った。  
煙が出たりする。  
その他の異常や故障がある。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。  
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

液晶データプロジェクターは、このように正しくお使いください。

電気容量やコンセント形状は、製品に合ったものをご使用ください。



愛情点検

## ELMO 株式会社 エルモ社

本社 名古屋市瑞穂区明前町6番14号 (052)811-5131 〒467-8567  
東京本部 東京都港区三田3丁目7番16号 (03)3453-6928 〒108-0073

東京支店 東京都港区三田3丁目7番16号 (03)3453-6471 〒108-0073  
名古屋支店 名古屋市瑞穂区明前町6番14号 (052)824-1571 〒467-8567  
大阪支店 大阪市中央区東高麗橋2番4号 (06)942-3221 〒540-0039  
九州支店 福岡市博多区下川端町10番10号 (092)281-4131 〒812-0027  
北海道営業所 札幌市北区北12条西2丁目4番地 (011)717-7221 〒001-0012  
仙台営業所 仙台市青葉区中央4丁目10番14号エノトセービル (022)266-3255 〒980-0021  
横浜営業所 横浜市保土ヶ谷区岩井町11番地ダイアナプラザ保土ヶ谷 (045)333-9142 〒240-0023  
広島営業所 広島市中区中町8番12号広島グリーンビル (082)248-4800 〒730-0037

\*所在地電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

6X1DPLA01